

=====

【ソフト名・バージョン】番号案内掲示板PLUS Ver.260Sf

【ファイル名】KenKenTyuPLUS260Sf.zip

【ソフト種別】フリーウェア

【動作確認OS】Windows11、Windows10 ※(注1)

【必要なもの】デュアルモニター環境、.NET Framework4.7.2以上

場合により 音声読み上げソフト、OneDrive

※(注1) Windows10はWebView2ランタイムのインストールが必要【PCの設定】を参照ください。

【禁止事項】転載および二次配布の不可。販売することを禁止します。

【免責事項】本ソフトおよびマニュアルに記載した事項は無償・無保証・無サポートです。

本ソフトを使用し機器、その他に支障が生じて一切の責任をもちません。

【Mail】msbunakisa@outlook.jp

【Copyright (c)】2026 gaku

=====

【起動方法】KenKenTyuPLUS260Sf.exeをダブルクリックします。

モニター1台の場合、**お試しモード**で起動します。(本来は2台で画面を拡張する設定が必要です)

【起動時の警告・ブロックについて】

起動時に**警告が出たりブロック**される場合があります。別途PDFを作成しましたので参照ください。

PDF名: "本ソフト起動時に「WindowsによってPCが保護されました」と表示される件について"です。

警告を回避するため対策としてWindowsシステムに関することは手動で行い 本ソフトが係るのをやめ

ました。モニターの常時電源ONの手動化やスリープ移行の抑制を手動にしたのはこの為です。

チャイムの音欠け対策ソフト SilentPlayerKKT も手動起動に変更しました。(ソフトは同封します)

【追記】Windows11のVer.22H2から搭載された新しいセキュリティ機能のスマート アプリ コントロール

で**ブロック**されました。理由は「**デジタル署名がなく、よく知られているアプリではないため**」です。

回避にはセキュリティレベルを下げるしかない為、**ブロック**された場合は**使用中を中止し削除**して下さい。

【別途作成したPDFを参照】

【番号案内掲示板PLUS Ver.260Sfについて】

番号案内掲示板PLUSは病院の薬局にあるような「引き換え番号」を表示するソフトです。

必要なものはTVとノートパソコン1台、あとはこのソフトだけなので安価に導入が可能です。

操作者の使い勝手を考えメモ機能や表示オーバー警告など色々工夫を盛り込みました。

患者さんが見やすいように「大きな文字」の操作タイプや2系統の番号表示が可能なタイプなど

全17種を用意しております。

番号表示の仕方は病院により異なるため、待ち番型・追加型・手動型の3つの方法で対応します。

その他、画像や動画の再生が可能であったり、スマホで番号確認 ※(注2) もできます。

別途、クリップボードの読み上げ対応ソフトを用意すれば番号の音声読み上げも可能です。

※(注2) セキュリティ対策を十分行ってください

《 最近のバージョンアップ 》

・手動型以外の「決定を押して」の点滅をやめました(番号ボタン押下時に判定ミスが多い気がする為)

・スクロール文のスクロール速度をバースライダーで変更できるようにしました。<図16>④

・スクロール文を滑らかにしました。(Ver.260Sで不具合がありましたがVer.260Sbで修正しました)

・チャイムの音源ファイルとしてMP3ファイルを再生可能にしました。<図16>⑧ <PCの設定>

・プログラムに組み込んでいたスリープ移行抑止とモニター常時電源ONをやめました。

・チャイムの音欠け対策ソフト(SilentPlayerKKT)の内部起動をやめ、手動起動としました。

・操作卓「手動型4分割」で音声読み上げを4カ所個別にできるようにしました。<図42>付近

・操作卓「手動型16窓」で追加番号の音声読み上げを可能にしました。<図29>

・操作卓にある患者画面のスクリーンショットを隠せるようにしました。<図10>⑬ <図16>⑳

・患者画面のスクリーンショットのタイミングを設定可能にしました。<図16>㉑

・待ち番型の5種と追加型5種の操作卓で一括削除を可能にしました。<図1>㉒他

・手動型の操作卓6種で最後尾入力を可能にしました。<図29>

・ビデオ再生が可能な操作卓で指定ファイルの再生と音量調整を可能にしました<図25>(A)

・ビデオ再生が可能な4種の操作卓でミュート可能にしました。<図25>⑧

・開始番号CとDを1番単位で設定できるようにしました。<図16>⑩⑳

・クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能にしました。ユーザー判断で使用下さい<図16>㉓

【使用にあたり必要なもの】

1)デュアルモニター環境

★★デュアルモニター環境が**必須**です。★★ モニター1台でも起動しますが患者用画面と操作画面が重なり実用性はありません。**お試しモード**として用意しています。

2) .NET Framework4.7.2以上が必要です。Windows10以上なら標準で入っていると思われます。

3)スマホで確認機能を使う場合はマイクロソフトアカウントとOneDrive、ネット環境が必要です。

4)番号の読み上げ機能を使う場合は、クリップボードの読み上げ対応ソフトが必要です。

5)Windows10の場合、**WebView2ランタイムが必要**です。マイクロソフトのサイトから入手可能です。

6)以下の19個を同じフォルダに置くことが**最低限必要**です。

KenKenTyuPLUS260Sf.exe	本ソフトの実行ファイルでダブルクリックでソフトが起動
configPLUS260S.ini	設定ファイル
sample.wav	標準のチャイム音
Scroll_Text260.html	スクロール文のファイル
direction_board.jpg	「スマホで確認」でソフト終了後にWeb上に表示する画像
imgFolder	連続再生時の画像を入れる フォルダ
mp4Video	動画を入れる フォルダ
AxInterop.WMPLib.dll	.NET FrameworkでMedia Playerを利用するためのdll
Interop.WMPLib.dll	同上
Microsoft.Web.WebView2.Core.dll	WebView2で利用するdll（文字のスクロール表示で利用）
Microsoft.Web.WebView2.Wpf.dll	同上
Microsoft.Web.WebView2.WinForms.dll	同上
WebView2Loader.dll（3種）	runtimesの下層にある。WebView2を利用するためのdll（3種）
NAudio.Core.dll	WAVやMP3ファイル再生で使用するdll（NAudio再生ライブラリ）
NAudio.dll	同上
NAudio.Wasapi.dll	同上
NAudio.WinMM.dll	同上

<補足>

- ・direction_board.jpgは「スマホで確認」でのみ使用しますが、使わない場合でも削除はできません。direction_board.jpgは自作が可能です。ファイル名はdirection_board.jpgが必須です。
- ・連続画像表示のための**フォルダ**imgFolderは中身が空でも構いませんがフォルダは必要です。後述する「その他のインストール関連 - 2」も参照してください。
- ・同様に**動画**を入れる**フォルダ**であるmp4Videoも中身が空でも構いませんがフォルダは必要です。「その他のインストール関連 - 3」も参照してください。
- ・プログラムを実行するとKenKenTyuPLUS260Sf.exe.WebView2（WebView2のキャッシュ）が本体と同一フォルダに作られます。

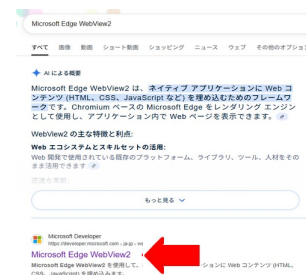
【PCの設定】

バージョン260Kで文字のスクロールを改善し滑らかにしましたが、そのため**WebView2ランタイムが必要**になりました。**Windows11**はWebView2ランタイムを標準で装備しているのでインストールの**必要はありません**。**【PCの設定のつづき】へ進んでください**。

ただし**Windows10**は、Microsoft Edge WebView2 ランタイムのインストールが**必要**です。

このランタイムがないとスクロール文が表示されません。（待ち番型の操作の図2-②③関連）すでにインストールされている可能性もありますが、その場合はインストールを進める中でインストーラーに弾かれます。

- ・WebView2ランタイムのインストール手順を以下に示します。
Googleなどで”Microsoft Edge WebView2”を検索するとマイクロソフトのサイト”Microsoft Edge WebView2”が先頭に表示されます。<右図>



このサイトからダウンロードを選びます。〈下図左〉

次にエバーグリーンブートストラップのダウンロードを選び〈下図〉インストールを行ってください。
「すでにインストール済です」と表示された場合はインストール不要です。

以上でインストール完了です。【PCの設定のつづき】へ進んで下さい。



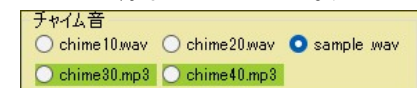
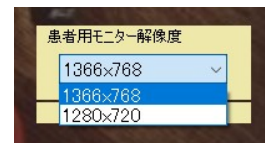
【PCの設定のつづき】

- ・PCとサブモニター(TV)をHDMI等のケーブルで繋ぎます。
- ・**メインモニター**(操作卓)の解像度をWindowsから**1366*768**、またはアスペクト比1.77の1600x900や1920x1080に設定してください。本ソフトは1366x768を前提に作成していますが、1366x768より解像度が高いと余白は出ますがマウスの動作は小さくてすみます。拡大と縮小は100%にしてください。それ以外ではレイアウトがくずれる可能性があります。
- ・**サブモニター**をWindowsの設定→システム→ディスプレイから「**表示画面を拡張する**」にします。拡大と縮小は**100%**にしてください。サブモニターの解像度は**1280x720**または**1366x768**に設定して下さい。(1366x768推奨) サブモニターは上記どちらかの解像度が**必須**です。
- ・**サブモニター**のタスクバーを非表示にして下さい。(Win11:タスクバーを右クリック→タスクバーの設定→タスクバーの動作→タスクバーを全てのディスプレイに表示のチェックを外す)
- ・**スリープ移行抑止**と**モニター常時電源ON**をWindowsのコントロールパネルの電源オプションで設定してください。(以前のVer.ではプログラムに組み込んでいましたがそれをやめました。)
- ・さらに 通知OFFの設定をします。(Win11:スタートメニュー→設定→システム→通知)
- ・チャイム音の出力先を設定します(Win11:タスクバーのスピーカーマークを右クリック→サウンドの設定をクリック→出力の「サウンドを再生する場所を選択」で再生デバイス[TV]を選びます。

表示スケールの詳細設定



- ・ここからは本ソフトを起動して設定します。zipを解凍して出来たKenKenTyuPLUS260Sf.exeを起動してください。【注意】実行場所は権限の必要なProgram Filesなどを**避けて**ください。操作卓の歯車 <図1>⑫から設定<図16>を開き行います。
- ・**サブモニター(患者用モニター)**の解像度を設定します。設定<図16>⑪(右図)で解像度の設定を行います。**サブモニター**の解像度はWindowsで設定したものと本ソフトで設定する解像度を**同じにする必要**があります。
- ・チャイム音を1つ付けました。(sample.wav) この他にwavファイル2つとmp3ファイル2つの計4つまで音を追加できます。追加ファイルはユーザーが用意してください。(フリーの音源はネット上に多数ありますが音源の多くが二次配布禁止のため添付できません。) wavファイルの追加方法はファイル名をchime10.wav または chime20.wavに変更してKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置いてください。



mp3の場合も同様でchime30.mp3またはchime40.mp3に変更してKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置いてください。次に設定<図16>⑧(右上図)で音を選択してください。

＜参考＞ 以下はフリー音源Webサイトの一例です。

サイト名: VSQplus+ 利用の際は利用規約を遵守ください。

例「ベル2」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **ベル**を検索→**ベル2**

例「琴1」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **琴**を検索→**琴1**

・SilentPlayerKKT(チャイムの音欠け対応ソフト)

以下は**チャイムの先頭が欠ける、または音が遅れて出る場合に試す価値があります。**

本ソフトに限らずHDMI経由でTVから音を出すと、場合により最初の部分だけ音が欠けることがあります。(本ソフトの場合チャイムの先頭が欠ける) 対応策を調べると**無音を出し続ける方法**があると知りSilentPlayerKKTを作成し同封しました。ただしVer.260Rから本ソフトと切り離し別ソフトとしたので本ソフトの内部から起動することができなくなりました。起動する場合はフォルダSilentPlayerKKT(右図⑤)の中にあるSilentPlayerKKT26.exeを手動で実行してください。するとタスクトレイに常駐します。(右図矢印)**常駐と同時に無音が再生されます。**一時的に停止したい場合はアイコンを右クリックでメニューが出るので(右図)そこで行えます。詳細はSilentPlayerKKTのマニュアルを参照してください。**音欠けに効果がある場合はスタートアップに登録してください。**SilentPlayerKKTのフォームから登録・削除が簡単に行えます。



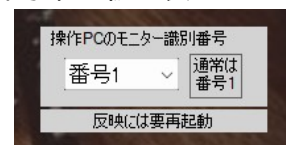
【補足】**決定を押してから遅れてチャイムが鳴る**場合にも効果があるかもしれません。

このよう場合は試す価値があります。

・機器構成によって、画面拡張された**サブモニター**に患者用画面が**表示されない**場合があります。

普通は次の操作は必要ありません。表示されない場合のみ試す価値があります。

原因の一つとしてモニターの識別番号が通常と異なり、操作卓PCのモニターが識別番号2、サブモニターが識別番号1になることがあります。(Windows仕様) <図16>⑬も参照ください。このような場合、操作卓画面と患者用画面が重なってしまい患者用画面に番号案内板は表示されません。このことが原因ならば以下の操作で改善する可能性があります。設定<図16>⑬で「操作PCのモニター識別番号」を「番号2」にして本ソフトを再起動してください。



●【その他のインストール関連 - 1】

◎スマホで番号確認機能の設定 (使用の有無は**任意**です。使用には**下記の【注意】の理解が必要**)

スマホで確認機能は患者用画面をスクリーンショットして、指定したフォルダに書き出します。書き出した画像をOneDriveを使いスマホで見られるようにします。

Win10およびWin11にはOneDriveが標準でインストールされています。

まずはOneDriveを使える状態に

設定してください。それにはネット環境とMicrosoftアカウントが必要です。

OneDriveの設定後、本ソフトの設定<図16>⑭でスマホで確認を「**使う**」にします。(上図⑭)

スマホで確認を使用時のみ更新時間を患者画面に表示できます。その有無も選択ください。

さらにPCのOneDriveフォルダ内に任意の**フォルダを作り**、これを参照ボタン⑮で指定します。

上図の例では、画像を書き出すフォルダとしてPCのOneDrive内に電光掲示板という**フォルダを作り**これを指定しています。このフォルダにある画像をOneDriveで同期・共有し**公開**します。

下記の★【注意】★を必ずお読みください。



★【注意】★ ネットに接続することはサイバー攻撃や情報漏洩のリスクも伴います。このことを踏まえると、**スマホで確認機能**はネット接続が必須であり**推奨できません。**

公開にOneDriveの機能を使っていますが誰でもネット上で見られるように共有をかけるので

検討を十分に行い、使用の際はセキュリティ対策を講じて自己責任で使用してください。

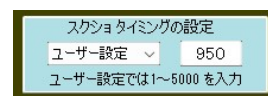
マニュアルの最後半にセットアップ例を記載していますが、あくまで**参考**としてください。

セットアップ例は間違っていたり問題があったりするかもしれません。

スマホで確認機能を使用したことで**被害が生じて**も**責任は持てません。**

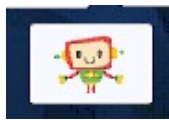
【補足】”スマホで確認”で使用するスクリーンショット画像は撮るタイミングで番号が映らない場合があります。検証を行い調整をしているので **再調整は不要**と思いますが、念のためユーザーが調整できるようにしました(右図)。

方法は<図16>⑳を参照ください。上図は設定<図16>㉑を抜粋



◎音声読み上げ機能の設定 （使用の有無は任意です）

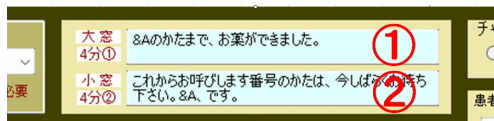
図A ロボットボタン



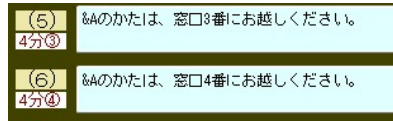
図D 犬ボタン



図B 読み上げの設定<図16>②⑤



図C 読み上げの設定<図16>⑤



<仕様概要>

本ソフトは患者画面が更新されるたびに内容をTextにします。ロボットボタン（上図A）または犬ボタン（左図D）を押すとTextをクリップボードにコピーするので別途用意した読み上げソフトが番号案内を読み上げます。

番号案内の音声読み上げを行うには別途**読み上げソフト**が必要です。

この読み上げソフトは**クリップボードの読み上げ**に対応したものが**必須**です。

作成にあたり棒読みちゃんv0.1.11.0 Beta21を使用しました。同様のソフトが他にもあるようですが、棒読みちゃん v0.1.11.0 Beta21以外での**動作確認は行っていません**。

< 設定方法 >

読み上げソフトをインストールの際、読み上げソフト側の**クリップボード監視機能を有効**にしてください。必要に応じてスタートアップに登録して下さい。（**クリップボード監視機能は必須**）次に本ソフトの設定をします。

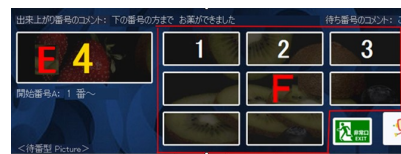
- ・下記の2種**以外**（手動型4分割と手動型16窓の2種**以外**）は読み上げ文章を設定画面の大窓と小窓（上図B①②）に登録します。
- ・「**手動型4分割**」は、最大4ヶ所で番号表示が可能のため各々に読み上げ文章を登録する必要があります。従来の図B①と図B②だけでは不足するため**コメントの(5)・(6)**（上図C）も使います。
- ・「**手動型16窓**」では**犬ボタン**（上図D）で“**追加となった番号**”だけの読み上げも可能です。追加番号用の文章は**小窓**（上図B②）に登録します。**通常の読み上げ**もロボットボタン（上図A）で可能です。文章は**大窓**（上図B①）に登録します。
- ・読み上げ文に使う**&A**の使い方は以下の設定例を参考にしてください。

- ・設定例:「手動型4分割」と「手動型16窓」**以外**の操作卓の場合

大窓（右図E）に表示される番号を **&A** にします。（&Aは半角）&Aは読み上げ時に数字に置き換えて読まれます。

例えば待ち番型の場合、文章は

“**&Aのかたまで、お薬の用意ができました。**”のようになるでしょう。（図B① 大窓）



小窓（右図F）に表示される番号を**&A**とすることで読み上げ時には実際の数字に置き換えて読まれます。数字が複数ある時は1番、2番・・・と読み上げます。

ゆえに待ち番型ならば“**次の番号のかたは、今しばらくお待ち下さい。&Aです。**”のようになるでしょう。（上図B② 小窓）

句読点を使うと間隔を開けて読み上げをします。（棒読みちゃんの場合）

操作卓によって登録する文章は異なってきます。各々に対応した登録を行ってください。

例えば追加型ならば登録文を “**さらに、次の番号のかたも出ています。&Aです。**” のように変更して下さい。

- ・設定例:「手動型4分割」の場合



「手動型4分割」は、最大で4ヶ所に番号表示が可能のため読み上げ文章も4カ所分の登録が必要になりました。

本来の登録場所である（上図B）<図16>②⑤には2つの文章が登録可能なので左図の①②の読み上げ文を登録します。残りの③④は通常コメントの文章登録に使う<図16>⑤の**(5)(6)**を使います。（上図C）

読み上げの文章の作成方法は他の操作卓と同様です。

&Aは上図①～④の番号に置き換えられます。（&Aは**半角**です）

例えば上図③の場合、上図Cの(5)に“**&Aのかたは、3番窓口にお越しください。**”と登録します。上図の場合、読み上げ時に&Aは886番に置換されます。

後述する設定の操作<図16>と「手動型4分割」の操作<図37>も参照ください。

・設定例:「手動型16窓」の場合

「手動型16窓」で通常の読み上げを行うと**毎回**16個の番号読み上げを行うことになります。(全て番号で埋まっている場合)そこで**追加番号だけを読み上げる**機能を追加しました。

追加番号のみ→ 小窓(上図B②)に登録→犬ボタンで読み上げ
全ての番号→ 大窓(上図B①)に登録→ロボットボタンで読み上げ



「手動型16窓」の具体的な例: (&Aは番号に置き換えられます。)

- ・小窓(上図B②)に”&Aのかたのお薬ができました。この番号より以前に出来たお薬は、掲示板でご確認ください。”と登録します。→ 犬ボタンを押すと**追加された**番号だけを読み上げます。
- ・大窓(上図B①)に”&Aのかたのお薬ができました。”と登録します。→ **ロボット**ボタンで今までどおり表示されている**すべての**番号を読み上げます。

●【その他のインストール関連 - 2】

◎静止画を表示する操作卓の設定

静止画を表示可能な操作卓タイプがあります。(下図A)(下図D)

1枚の静止画を表示する機能と紙芝居のように複数画像を連続再生する機能から選べます。

(1) 一枚の画像を表示する機能

- ・操作卓名が○○型**Picture**の操作卓(下図A)で静止画を表示するには、表示する画像名を infopic10.jpg、infopic20.jpg、infopic30.jpg のいずれかにしてKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置きます。(下図B)②

設定で(下図C、<図16>⑫)infopic10.jpg~30の中から選ぶと患者画面に表示されます。

また、ユーザーがinfopic10.jpg~30の画像は**作成**することも**可能**です。

その際は解像度に注意してください。

infopic10.jpg~30は解像度が1280x1400ドットまたは比率(W/H=0.914)だと隙間なく表示されます。画像は拡大縮小されますが、この比率でない場合は隙間を黒背景にします。

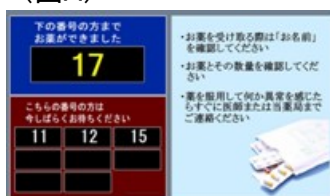
- ・操作卓4分割で静止画(下図D 赤矢印)を表示するにはファイル名をinfopic**A**、jpginfopic**B**、jpginfopic**C**.jpgのいずれかにしてKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置きます(下図B)④その上で設定(下図E)<図16>⑪で静止画を指定しinfopicA.jpg~infopicC.jpg(図E 赤矢印)のいずれかを選ぶと画面に表示されます。

またユーザーはinfopicA.jpg~Cを作成可能です。infopicA.jpg~Cは解像度が1000x480ドットまたは、比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。(画像はjpgである必要があります。)

表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。

Infopic??jpgが存在しなくとも設定画面で選べますがエラーにはなりません。

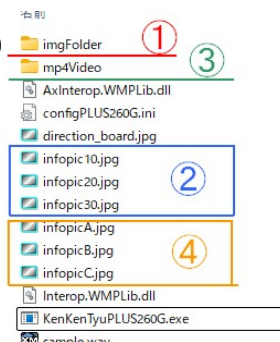
(図A)



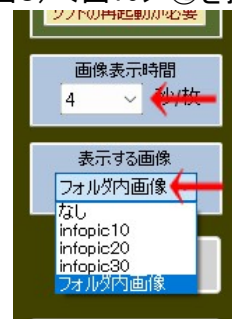
(図D)



(図B)



(図C) <図16>⑫を抜粋



(図E) <図16>⑪を抜粋



(2)複数画像を連続ループ再生する機能

- ・ 操作卓○○型Picture(上図A)で連続画像表示をするにはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(上図B)①の中に画像ファイルを入れ、本ソフトの設定(上図C)＜図16＞⑫で”フォルダ内画像”を指定します。
連続再生は**ファイル名の昇順**でループ再生されます。
サンプルではファイル名をimgSample_風景01.jpg 次にimgSample_風景02.jpg・・・としています。
こうすれば01→02→03→・・・の順で再生され最後は01に戻りループします。
画像は解像度が1280x1400ドットまたは比率(W/H=0.914)だと隙間なく表示されます。
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=0.914)でない場合は黒い背景が入ります。
なお、再生可能な画像形式はjpgのみです。
また、連続再生時の1枚あたりの表示時間を設定できます。(上図C)＜図16＞⑪
サンプルでは風景写真の連続再生を用意しましたがユーザーが紙芝居形式の画像を用意すれば、たとえば「くすりの豆知識」などの情報を紙芝居形式で提供可能と思います。
- ・ 操作卓4分割(上図D 青矢印)で連続画像表示をするためにはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(上図B)①の中に画像ファイルを入れ、本ソフトの設定で連続画にする必要があります。(上図E 青矢印)
連続画の場所指定は4ヶ所の何処でも可能ですが、配置はその内の1ヶ所だけです。
連続再生時の1枚あたりの表示時間は(上図C)図16-⑫で設定します。
画像は解像度が1000x480ドットまたは比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。
再生可能な画像形式はjpgのみです。

●【その他のインストール関連 - 3】

◎動画を表示する操作卓の設定

ビデオ表示が可能な操作タイプを用意しました(下図F,G)。再生できる動画はmp4 のみです。
動画ファイルはソフト起動時から再生が始まり、ループ再生します。
ファイル名をSample01.mp4 次にSample02.mp4・・・とすれば01→02→・・・の順で再生され最後は01に戻りループします。
動画は自動的に比率を維持した最大表示に拡大縮小され、余白となった部分は黒背景になります。下図Fは16:9のアスペクト比、図G(操作卓4分割)は16:8のアスペクト比です。

(図F)

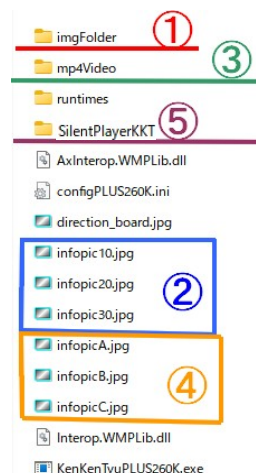


(図G)



動画再生はmp4Videoフォルダ(下図H)③の中にmp4ファイルを入れる必要があります。
またmp4Videoフォルダ(下図H)③はKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置く必要があります。

(図H)



<備考>

動画の最初の約10秒間、患者画面に動画が**表示されない**現象が生じました。調べてみると、私がサイズを小さくするツールで圧縮した動画でした。
圧縮せず動画の編集でカット・結合だけの場合にこの症状は出ませんでした私の環境に依存するのかもしれませんが。

●その他の機能や特徴

- ・番号は開始番号を設定することで「1番から9999番」まで可能です。
待ち番型では出来上がりが遅れている番号を大きい数字から8つまで表示可能です。
追加型では追加出来上がり番号を小さい番号から8つまで表示可能です。(一部を除く)
- ・Picture表示3タイプでは複数画像の連続表示や単独画像表示が可能です。
- ・設定により、表示コメントや音、スクロール文章、点滅回数などを変更可能です。
- ・待ち時間の表示が可能です。
- ・番号の読み上げが可能です。(棒読みちゃんのようなクリップボードの読み上げ対応ソフトが必要)
- ・スマホで番号を確認できます。(OneDriveの設定が必要です。使用の際はセキュリティ対策を講じてください)
- ・メモを2枚、画面に貼ることが出来ます。
- ・操作卓PCの一部に患者用画面を縮小表示します。(右図の矢印)
邪魔な場合は隠すことも可能です。
(お試しモードでの縮小表示は、番号・コメントを表示しません)
- ・チャイム音をユーザーが追加できます。
(前述のPCの設定を参照してください)



- ・表示数オーバーで表示されない数字があると警告をだします。(追加型、待ち番型)

追加型の番号表示仕様

追加型は番号を次のように表示します。「2番までできました。さらに4番5番・・・もできています。」ただし追加番号を表示する小さい枠は8個しかありません。もしも8個をオーバーした場合は小さい番号が優先され、大きい数字は表示されません。

◎ 8個をオーバー時の具体例

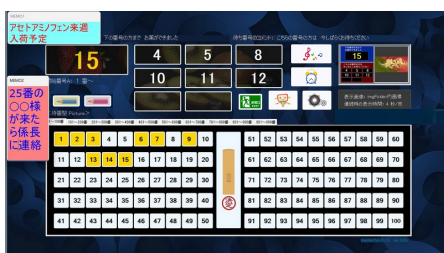
下図で3番の黄色ランプが点灯しておらず、1番から見て最初の未完成番号となります。
4番～12番は完成しており追加番号となります。故に2番が大きい枠、4～12番が小さい枠8個に小さい番号優先で入ります。この場合11番(矢印B)で枠8個がいっぱいとなり12番(矢印A)は表示されません。するとオレンジの背景で警告をだします。(矢印C)
矢印Dは矢印Cの拡大図です。”12以上の番号は表示されません”と表示されています。
もしも開始番号を1001番～としていれば”1012番以上の番号は表示されません”と警告がでます。同様に待ち番型でも表示されない番号がある場合は警告をだします。

右図は追加型:

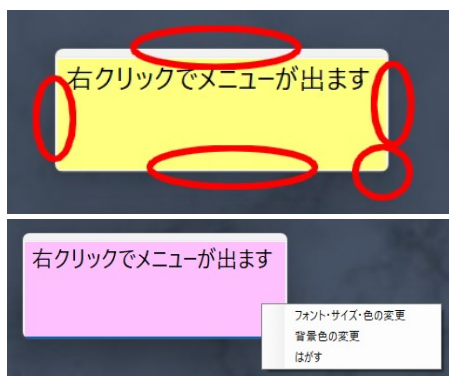


・メモ機能について

全ての操作タイプでメモを画面に貼れます。鉛筆のボタンを押すと起動します。
伝達事項や注意事項を共有する手段として使って下さい。
画面に貼ったメモは以下の機能を有します。

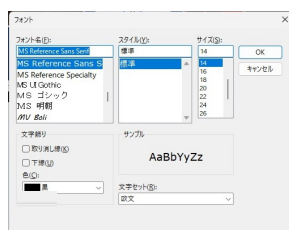


1. サイズが変えられ移動もできます。
2. 位置・サイズ・色・文字などを次回起動時に再現します。
3. 背景色を変更できます。
4. 文字のフォント、色やサイズを変更できます。
5. 貼ることができるメモは2枚です。



具体的説明

- ・メモの右角や横辺・縦辺を引っ張るとサイズの変更が可能です。
- ・メモのどこを掴んでドラッグしても移動が可能です。
- ・左図の黄色やピンク部分で**右クリック**するとメニューが表示されます。項目は”フォントサイズ色変更””背景色変更”、”**はがす**”です。
- ・右クリックメニューから”フォントサイズ・色の変更”を選ぶと下図-左が表示されます。ここでフォントとサイズの変更が可能です。文字色は更に色ウインドウで選択します。



- ・同様に背景色は右クリックメニューから上図-中央の色選択ウインドウで変更が可能です。
- ・メモを”**はがす**”ときはメモの上でマウスを右クリックし、表示した**メニューから”はがす**”を選びます。
- ・”青色鉛筆”と”赤色鉛筆”(上図-右)の各ボタンに1枚のメモが対応しています。計2枚のメモが貼付できます。(3枚以上は不可)
- (注意)・メモは患者用画面にも移動できます。はみ出ないように注意してください。患者に見えてしまいます。
- ・**読み上げソフト使用時はコピーに注意してください。**クリップボードを読み上げる仕様のためコピーした文字が患者に聞かれてしまう可能性があります。
- (参考)・メモを書く際に「Ctrl+A」全選択、「Shift + 矢印」で部分選択、「Ctrl+C」で選択部分のコピー、「Ctrl+V」で貼り付けなどショートカットキーが使えます。

【起動方法】 KenKenTyuPLUS260Sf.exeをダブルクリックします。

【使用方法】

- 「待ち番型」の操作 設定<図16>①で「待ち番型」を選択しソフトを再起動します。
待ち番型とは、出来上がった最大番号とその内でまだできていない番号を表示します。
例「8番までできました。ただし4番6番の方はお待ちください」
操作は下の<図1>で行い、その結果を患者用画面<図2>で患者に知らせします。

- <図1>① 引換え番号の開始番号を表示します。開始番号は1000番単位で増加が可能です。開始番号が3001番の場合、1番のボタンが3001番となります。<図16>⑨も参照してください。
- <図1>②③ 患者用画面に表示される上段および下段のコメントです。<図2>⑮⑯
設定するには歯車ボタン<図1>⑫で設定ウィンドウを開き<図16>⑤で行います。
- <図1>④ 出来上がった最大の番号です。
- <図1>⑤ 待ち番号です。下図では「25番まで出来たけど<図1>⑤に表示した番号は待って」という意味で待ち番号は大きい数から取得され、8個を超える場合は小さい数から削られます。
- <図1>⑥ タグごとに100個のボタンを配置しており計1000個のボタンがあります。開始番号①と組み合わせれば最大9999番まで表示可能です。開始番号については<図16>⑨を参照ください。
- <図1>⑦ 出来上がった番号のボタンを押すとサーモン色になり再度押すと取り消します。

<図1>
操作卓画面



- <図1>⑧ 出来上がった番号を押した後は、この決定ボタンを押す必要があります。
- <図1>⑧の決定ボタン押すとサーモン色のボタンは黄色に変わり、患者用モニター<図2>⑮⑯へ反映します。患者用画面で表示番号に変更があった番号のみ点滅します。点滅しない設定や点滅回数も指定できます。方法は歯車ボタン<図1>⑫から設定<図16>⑥で行います。
- <図1>⑨「音符のイラスト」でチャイムを鳴らします。番号に更新がある場合は自動で鳴りますが手動で鳴らしたい時はこのボタンを押します。
- <図1>⑩「時計のイラスト」は待ち時間を表示したい場合に押します。クリックすると新しいウィンドウ<図3>が現れるので該当する時間を選択し決定を押します。これで患者用画面に待ち時間が示され<図2>⑯、操作卓にも待ち時間が表示されます。
- <図1>⑪ 引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定<図16>⑮で文章の登録が必要です。
詳細は【その他のインストール関連 - 1】を参照下さい。
- <図1>⑫「歯車のイラスト」は各種設定を行います。詳細は設定<図16>を参照してください。
- <図1>⑬ 患者用画面にスクロール文として表示する文章です。<図2>⑰に表示されます。
スクロール文は<図1>⑫から設定を開き<図16>②③で変更可能です。
- <図1>⑭で終了します。

＜図1＞②④ 患者用画面を縮小して表示します。「決定」と「待ち時間」＜図1＞⑧⑩が押されるたびに更新されます。邪魔に感じる場合スクショをマスクして見えなくできます。＜図4＞参照。
患者用画面の縮小表示はモニター1台のお試しモードでは使用できません。

【参考】タイミングによりスクリーンショットで番号が映らない場合があります。このようなことが頻発する場合は＜図16＞②⑧でタイミングを調整できます。＜図16＞②⑧を参照ください。

＜図1＞②⑤ 画面にメモを貼ります。詳細は前述の【その他の機能や特徴】を参照してください。
＜図1＞②⑥ 「スマホで確認」使用時に番号更新時間を表示する設定をした場合に表示されます。
＜図1＞②⑦ 消しゴムは番号を一括クリアします。点灯しているボタンは全てリセットされます。

＜図2＞
患者用画面



②⑧部分を拡大

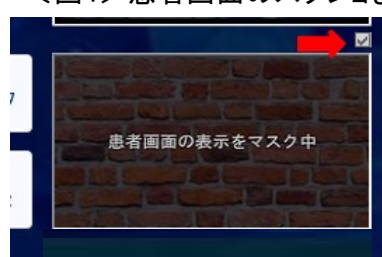


＜図2＞①⑤⑨ コメントは待番型に合わせ＜図1＞⑫から設定を開き変更します。＜図16＞⑤
＜図2＞①⑦ 設定でスマホで確認するを選んでいる場合、番号が更新されるたびに時間を表示します。設定で表示しないようにもできます。＜図16＞②⑦
「スマホで確認」を利用しない場合は表示されません。
＜図2＞①⑧ 待ち時間を表示します。操作は＜図1＞⑩の時計ボタンを押し＜図3＞で行います。
＜図2＞②⑩＜図1＞⑤ 待ち番号を表示します。8個を超えた場合大きい数字を優先し表示するため小さい数字は表示されません。このような場合「～以下の待ち番号は表示されません」と操作卓に警告がでます。前述の【その他の機能や特徴】の”◎ 8個をオーバー時の具体例”を参照ください。その際は”追加型”と”待ち番型”の違いがりますので読み替えてください。
＜図2＞②⑪ 操作卓画面に戻ります。戻るボタンはお試しモードの時だけ表示されます。
＜図2＞②⑫ スクロールする文を表示します。文章は設定画面で選択および編集が可能です。
＜図2＞②⑬ クレジット表記を想定して、ユーザー判断で患者画面の右下にコメントを表示できます。空白でも構いません。標準では施設名を表示しています。設定は＜図16＞②⑨参照ください。
＜図4＞ 赤矢印にチェックを入れると患者画面のスクショ＜図1＞②④をマスクします。スクショが邪魔な場合にお使いください。ただしチェックによるマスクは保存されません。再起動や設定画面に行くと元に戻ってしまいます。保存する場合は設定画面＜図16＞②⑫から変更してください。マスクは手動型4分割を除くすべての操作卓で可能です。

＜図3＞ 待ち時間選択画面



＜図4＞ 患者画面のスクショをマスク



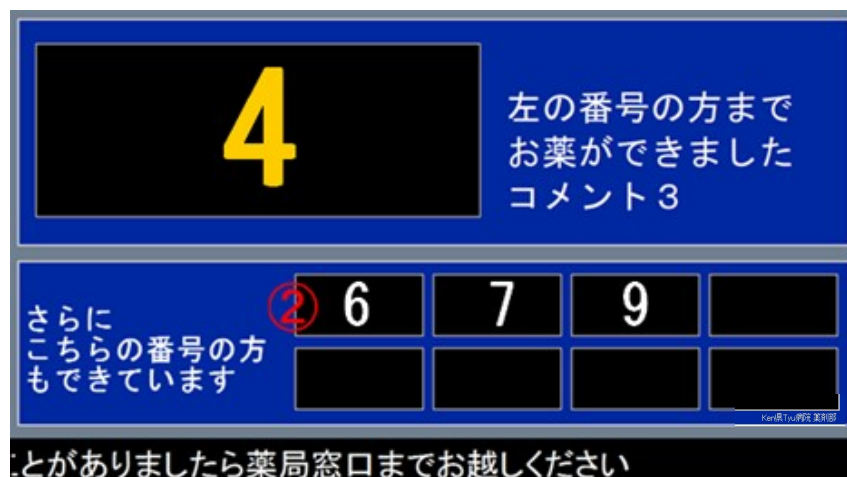
- 「追加型」の操作 設定<図16>①で「追加型」を選択しソフトを再起動します。
追加型とは、1番からみて初めて不連続になる直前の番号を最大の出来上がりの番号とし
不連続番号より大きい出来上がり番号を、さらに出来ている番号として追加します。
下の<図6>を例にすると「4番までできました。さらに6番7番9番もできています」となります。
ここで10番を押して決定を押せば、①の最後と<図7>②の最後に10番が追加されます。
操作に関しては「待ち番型」と同様です。前述の「待ち番型」を参照してください。

<図6>
操作卓画面



<図6>①<図7>②に表示される「追加番号」は小さいものから取得され、8個を超える場合は
大きい番号から削られます。このような場合「～以上の番号は表示されません」と警告がでます。
詳細は【その他の機能や特徴】の”◎ 8個をオーバー時の具体例”を参照してください。
<図6>③は患者用画面の縮小画像です。マスクして見えなくすることも可能です。<図4>を
参照してください。

<図7>
患者用画面



<図7>のコメントは追加型に合わせて設定(歯車マーク)から変更してください。

- 「手動型」の操作 設定<図16>①で「手動型」を選択しソフトを再起動します。
- ・待ち番号や追加番号を見つけ出すことは**しません**。入力した番号を表示します。
- ・ソートの有無を設定することができます。<図10>⑧から設定を開き<図16>⑦で行います。
- ・コメントを変えれば待ち番型や追加型にもなります。下段のコメントを窓口への呼び出し番号に変えるなどして会計窓口などでも使えるかもしれません。
- ・クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい<図16>②参照

【補足1】 入力した番号を患者用画面に表示するには「掲示板に反映」ボタン<図10>⑤を押す必要があります。操作卓で確認した後に患者用画面に表示という手順をとっています。
数字の間違いに気づいた場合は、**ゼロを入力すると枠は空欄になります**。
<図10>①②の表示桁数は4桁で、それ以上を電卓<図10>③で入力しても削られます。

入力はマウスでボタンをクリックするかキーボードで入力することが可能です。
以下は対応キーです。

- 1～9 キーボードの1～9に対応
- +C キーボードの+またはCに対応 機能としてはクリア
- BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除
- キャンセル キーボードのESCに対応
- 決定 キーボードのEnterに対応 (キーボードのスペースもEnterと同じ働きをします)
- 矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。

【補足2】 **電卓がアクティブな状態では電卓以外のボタンを押せません**。

- <図10>①②ボタンをマウスやキーボードで選択すると背景が茶色になり入力モードになります。
- <図10>③電卓は入力モードでがアクティブになります。電卓の数字をマウスでクリックするか実物のキーボードで操作します。数字を入力すると電卓内の「決定」と「決定を押して」の文字が点滅します。「決定」後、「掲示板に反映」が点滅しますが、**続けて番号の入力が可能**です。
- <図10>④「消しゴム」ボタンは一括番号削除ボタンです。このボタンを押すと<図10>①と<図10>②の番号が全てクリアされ患者用画面にも反映されます。
- 個別に削除**にするとときは<図10>①や②のボタンに**電卓で0を入力**して下さい。続けて0を入力することも可能です。**0入力だけであれば「掲示板に反映」を押してもチャイムは鳴りません**。
- <図10>⑤「掲示板に反映」押すと<図10>①や②に入力した番号を患者モニターに反映します。反映すると朱色の背景は濃い青色に戻ります。
- <図10>⑥ 手動でチャイムを鳴らすときは「音符のイラスト」を押します。
- <図10>⑦「時計」のボタンは待ち時間を表示する場合に使用します。
- <図10>⑧「歯車」のボタンは各種設定を行います。詳細は<図16>

<図10>
操作卓画面



<図10>⑨ 番号入力モードは茶色の背景にinputの文字が表示され電卓<図10>③がアクティブになります。

番号入力モードにするにはマウスでボタンをクリックするか矢印キーで黄色い枠を入力したい場所に合わせEnterまたはスペースキーで選択する必要があります。

＜図10＞⑨部分を抜粋



前述の【補足1】【補足2】も参照してください。

また、お試しモードで患者画面に表示される「戻る」ボタンで操作卓に戻った場合、矢印キーで黄色い枠が移動しません。マウスでどこかスペースをクリックすると移動可能になります。

このような症状は2画面運用では起きません。お試しモードだけの症状です。ご容赦ください。

＜図10＞⑩ 画面にメモを貼ります。詳細は前述の【その他の機能や特徴】を参照ください。

＜図10＞⑪ 引換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定＜図16＞②⑤で文章の登録が必要です。

詳細はマニュアル序盤の【その他のインストール関連 - 1】を参照下さい。

＜図10＞⑫ 最後尾に番号追加します。従来は入力場所を選んで番号を打つか、全ての枠が入力済みの場合は番号をクリアしてから入力することが必要でした。最後尾入力には最後に番号を追加します。全ての枠が埋まっても左上の番号が自動的に削られます。

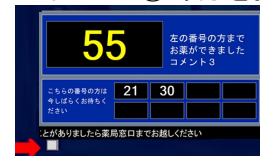
手動型16窓＜図29＞も参照ください。

＜図10＞⑬ 患者用画面のスクショを表示しています。

視界に入り邪魔に感じる場合は、マスクして非表示にすることが可能です。方法は2つあり、4角付近にあるチェックボックス(右図赤→)でマスクが可能です。

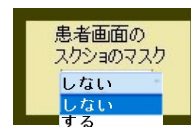
ただしこの方法は設定を保存しないため再起動時や設定画面から抜けると起動時の状態に戻ってしまいます。もう一つの方法は設定＜図16＞②⑦で行います。この場合設定は保存されます。

＜図10＞⑬部分を抜粋



上図がマスクされた状態

＜図16＞②を抜粋



マスクは手動型4分割を除くすべてで可能です。



・手動型ではソートの有無を指定できます。＜図10＞⑧設定→＜図16＞⑦で設定できます。ソートの有無にかかわらず＜図10＞②の枠内にある空白は削られ左詰めされます。ソート有りの場合は小さい順、ソートなしの場合はそのまま左詰めされます。

●「設定」の操作 各操作卓の歯車マークのボタンから設定ウインドウを開くことができます。

- ・＜図16＞① 操作卓タイプを選択します。反映にはソフトの再起動が必要です。
- ・＜図16＞② 患者用画面の最下段に表示されるスクロール文の選択をします。
- ・＜図16＞③ スクロール文の編集は直接編集が可能です。改行は不可です。
- ・＜図16＞④ スクロール文の速度の設定です。スライダーを動かすと0～100の範囲で変化します。その数値はバー左のテキストボックスに表示されます。数字が大きくなるほど速くなります。0にするとスクロールを行いません。
- ・＜図16＞⑤(1)～(6) 患者用画面の「左の番号までお薬ができ～」などのコメントを設定します。コメントは編集が可能です。操作卓により文字数や表示部分が異なるため注意が必要です。操作卓「手動4分割」を使用時＜図16＞⑤(5)(6)は読み上げ文の一部として使用します。
- ・＜図16＞⑥ 番号に変更があったときの点滅回数を設定します。(点滅は患者用画面のみ) 点滅回数は0回から9回まで選択でき、設定は保存されます。0回は点滅なしです。
- ・＜図16＞⑦ 番号のソートの有無を設定します(手動型系の操作卓でのみ有効)
- ・＜図16＞⑧ チャイムを選択します。chime10.wav、chime20.wav、chime30.mp3、chime40.mp3の音源はユーザーが用意してください。具体的追加の方法はマニュアル序盤の「PCの設定」を参照してください。
- ・＜図16＞⑨と⑩で開始番号A,Bを設定します。開始番号AとBの反映には再起動が必要です。開始番号AとBは1000番単位の設定となるので、ここで「1001番～」を選んだ場合はボタン

の「1」が1001番になります。(開始番号は手動型では有効ではありません。)
 2系統の番号を管理する操作卓タイプあります。このタイプは操作卓を上段と下段に分けて
 操作を行います。＜図16＞⑨は上段、＜図16＞⑲は下段の開始番号になります。

- ・＜図16＞⑩⑳ 開始番号C,Dは開始番号を1番単位で設定します。
 1系統の操作タイプは開始番号C ＜図16＞⑩が有効で、ここで1番単位での設定が可能です。
 2系統の操作タイプでは＜図16＞⑩が上段、＜図16＞㉑が下段の1番単位の設定となります。
 開始番号C,D＜図16＞⑩㉑は、設定した番号まで一括で出来上がりとする事で開始番号と
 するので、反映には決定ボタンを押す必要があります。
 再起動は必要ありません。設定は保存されます。(手動型で開始番号は無効です。)

＜使用例＞ 例えば1501番スタートの施設の場合、開始番号Aを1001番～とし再起動します。
 これでボタン「1」は1001番となりますが、さらに1～500のボタンを押す必要があります。
 しかし開始番号Cに「500」と入力し決定を押すると1～500を一括で出来上がりにする
 ので500個のボタンを押す必要がありません。

- ・＜図16＞⑪ 後述の連続画像表示する場合に画像1枚当たりの表示時間を選択します。
 これは連続で画像表示する場合のみ有効です。
- ・＜図16＞⑫ 連続画像を表示する場合、imgFolderフォルダの中に画像データ(jpg)を入れます。
 更に設定画面⑫で「フォルダ内画像」を選べばファイル名の昇順で繰り返し表示します。
 マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 2】でも説明しているので参照してください。
 注意: imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260Sf.exe と同じ場所に置く必要があります。

＜図16＞

①～⑨ 赤
 ⑩～⑲ 青
 ⑳～ 緑

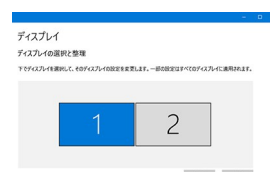


- ・1枚の指定画像を患者用画面に表示するには⑫でinfopic10.jpg～ infopic30.jpgの内から指定します。指定する画像ファイルはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所にある必要があります。
 選んだ画像ファイルが無くてもエラーにはなりません。(表示されないだけです。)
 infopic10.jpg～30はサンプルとして添付しましたが原則ユーザーが作成してください。
 マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 2】でも説明しているので参照してください。

- ・＜図16＞⑬ モニターの識別番号が原因で患者用画面が表示されない場合に変更します。
 通常は「番号1」のままで、変更する必要はありません。
 【⑬を「番号2」にする場合の詳細】

WindowsはOSが認識しているモニターの全てに番号を振ります。
 識別番号はWindowsのデスクトップで右クリック→ディスプレイ
 設定で確認できます(下図)大抵は番号1のモニターがメイン
 モニターで番号2のモニターがセカンダリーになるのですが、
 PC機器の構成によっては逆になる場合があります。

メインモニター 番号2
 セカンダリーモニター 番号1 となる場合があります。



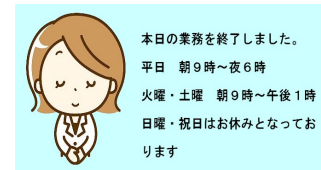
上記の場合、本ソフトでは操作卓画面と患者画面が重なってしまい番号1のモニターには何も映りません。

このような場合＜図16＞⑬で操作PCの識別番号を「番号2」に変えると改善されます。

注意: 反映にはソフトの再起動が必要です。

- ・＜図16＞⑭ スマホで確認の「使う」「使わない」を選択します。
スマホで確認とは番号案内の患者用画面をキャプチャーして、その画像ファイルに共有を設定しネット上に公開します。誰でも番号確認が可能にできます。（共有の設定で異なります）
「スマホで確認機能」は、モニター1台の**お試しモードでは使えません**。
スマホで確認はOneDriveを使っていますのでマイクロソフトアカウントが必要です。
スマホで確認を使用時、患者用画面と操作卓に更新時間を表示できます。例: ＜図2＞⑰
更新時間の表示の有無は後述の＜図16＞⑰で設定できます。
OneDriveの設定関連はマニュアルの最後半に**参考**として記載しております。
【注意】スマホで確認を使用しない運用になったら速やかなファイルの共有解除を推奨します。
- ・＜図16＞⑮ スマホで確認機能を使用する際、患者用画面をキャプチャーし「番号案内.jpg」の名称で⑮で指定したフォルダに書き出します。
この画像をOneDriveの同期・共有を使ってネット上に公開しています。
キャプチャーと書き出しは決定ボタンまたは「掲示板に反映」を押すたびに行われます。
＜図16＞⑮で指定したフォルダが存在しない場合や、指定不可のC:¥を選択した場合は一旦KenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に変更されます。（正しいフォルダに訂正してください）

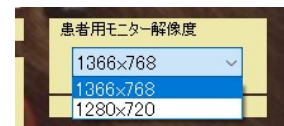
- ・スマホで確認「する」を選んでいる場合、本ソフト終了時にカラーパターンを⑮で指定したフォルダにコピーします。
実行ファイルKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所にあるdirection_board.jpgを「番号案内.jpg」にリネームしてコピーしているのですが、これは業務終了後にネット上に引き換え番号を表示しないためです。
この機能が不要でも変更はできませんが画像を自作すれば内容を変えることは可能です（参考例: 右図）
direction_board.jpgを書き換えればOKです。ただし、direction_board.jpgは本ソフト起動の必須条件としているのでファイル名の変更や削除はできません。



OneDriveの設定はマニュアルの最後半に記載しております。**参考**として参照してください。
なお、ネットに接続することは、サイバー攻撃や情報漏洩のリスクも伴います。
スマホで確認機能はネット接続が必須のため**セキュリティ対策をしっかりと行って下さい**。

- ・＜図16＞⑯ キャンセルは保存せず操作画面に戻ります。決定は保存し操作卓に戻ります。

- ・＜図16＞⑰ 患者用画面の解像度を本ソフトで設定します。
Windowsでセカンダリモニターの解像度として設定が必要ですが、それとは別に**本ソフト**でも設定を行います。
Windowsで設定した解像度と同じ解像度を選びます。
（1366x768または1280x720のみ対応）反映には本ソフトの再起動が必要です。
設定の詳細はマニュアルの序盤の【PCの設定】に記載しています。参照してください。



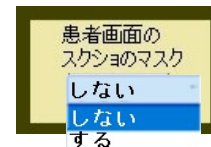
- ・＜図16＞⑱ 患者用画面の配色を変更します。
下図の3種類から選択でき、変更は保存されます。操作卓に戻るとすぐに反映します。
配色の例は以下のとおりです。



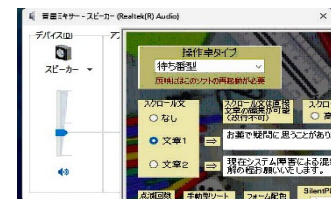
・<図16>①②は2系統操作卓で有効です。開始番号⑨⑩で説明しているので参照してください。

・<図16>②① 操作卓「**手動型4分割**」の番号入力・静止画・連続画像・動画の配置を設定します。番号入力で背景色を設定できます。「番号」を選んでいると背景色を選択できません。番号入力で表示されるコメントは<図16>⑤で設定します。コメントは(1)～コメント(4)までを使用し4分割の各々に対応します。番号入力は4分割の全ての場所で選択可能で、全ての場所を番号にすることも可能です。静止画はinfopicA.jpg～Cの画像を設定します。infopicA.jpg～Cは自作ができます。静止画は全ての場所で選択可能で、全ての場所を静止画にすることも可能です。静止画を選ばないと表示画像を選択できません。連続画像はすべての場所で選択できますが、配置は1ヶ所にだけに限られます。**動画は右下の場所에만配置可能です。**「手動型4分割」の静止画と動画の設定は【その他のインストール関連2と3】を参照ください。

・<図16>②② 患者画面のスクリーンショットを操作卓に表示していますが、ここでマスク”する”にするとレンガ画像で隠され見えなくなります。前述の「待ち番型」の操作<図4>も参照ください。



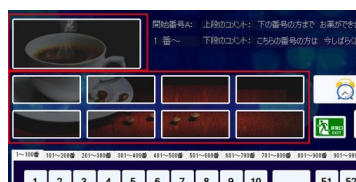
・<図16>②③ 音符のボタンを押すとチャイムが鳴ります。チャイムの音量調節時に利用下さい。
・<図16>②④ スピーカーのボタンを押すと音量ミキサーが開きます。音量調節が可能です。設定ウインドウの後ろに隠れる部分がありますが音量調節は可能だと思います。



・<図16>②⑤ 番号の読み上げのための設定です。読み上げには棒読みちゃんのようなクリップボードの読み上げ対応のソフトが別途必要です。詳細は【その他のインストール関連 - 1】と「手動型4分割」と「手動型16窓」を参照して下さい。

・<図16>②⑥ 操作卓の番号を表示する枠の背景を画像あり(下図左)と黒色(下図右)から選択できます。背景が画像だと見難い方、好みでない方は利用ください。手動型では無効です。

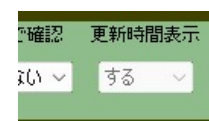
背景画像あり



背景画像なし



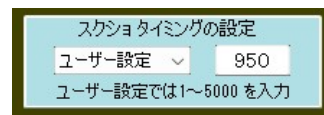
・<図16>②⑦ 「**スマホで確認**」機能を使用する場合更新時間の表示の有無を設定できます。(右図) スマホで確認を使用しない場合、更新時間を表示できません。モニター1台のお試しモードでも表示できません。右図は更新時間の表示例です。



・<図16>②⑧ (**通常、変更の必要はありません**)
右図の**赤矢印**が指す画像は患者画面をスクショしたもので決定を押すたびに作成されます。これは”スマホで確認”で使用する画像と同じです。**”スマホで確認”を使う場合は全ての番号が映っている必要**がありますがスクショをとるタイミングでグ映らない可能性はあります。この事はプログラム時に検証を行っておりますので再調整は不要だと思いますが、想定外の場合を考慮しユーザーが調整できるようにしました。



＜図16＞⑳(右図)で”初期値使用”を選ぶと内部であらかじめ設定している値になります。脇の数値は変更できません。
”ユーザー設定”を選ぶと数値を変更できるので、初期値から100程度ずつ増減して調整してください。(1=0.001秒)



設定＜図16＞⑥で”点滅する”にしている、番号が漏れなく撮れる値に調整してください。調整する際、決定は十分間隔をあけてクリックし点滅と被らないようにスクショを撮ってください。調整した数値は保存されますが”初期値使用”にすると消えてしまいます。

調整の際に使う画像は”番号案内.jpg”を使用してください。この画像は＜図16＞⑭でスマホで確認を”使う”にすると＜図16＞⑮で指定したフォルダに書き出されます。

注意: 調整の際、本ソフトを終了すると番号案内.jpgはカラーパターンに書き換えられスクショの具合を確認できません。終了せずに番号案内.jpgを確認する必要がありますが、その方法は次の通りです。事前にエクスプローラーを起動しておき本ソフトを起動します。タイミングを調整するたびAlt+Tabでエクスプローラーに切り替えて番号案内.jpgの確認を行います。

・＜図16＞㉑ 患者画面へのクレジット表記が必要な場合を想定し、短いテキストの表示設定が可能です。例えば写真などの使用にクレジット表記が必要な場合などに利用できるかもしれません。ユーザーの判断で利用下さい。



●「待ち番型Picture」の操作 設定＜図16＞①で「待ち番型Picture」を選択しソフトを再起動します。前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面の右半分に単独画像や連続画像が表示可能なところ。なおスクロール文はありません。

＜図17＞① 単独画像表示の場合はファイル名、連続表示の場合は”infoFolder内の画像”が表示され、1枚当たりの秒数が表示されます。(単独画像表示の場合、秒数は無効)

＜図18＞②のように患者用画面に画像が表示されます。

仕様の詳細や画像を自作する場合は【その他のインストール関連 - 2】も参照してください。

＜図17＞③に患者用画面が縮小され表示されます。マスクして見えなくすることも可能です。

マスクに関しては＜図10＞⑬や＜図16＞㉒を参照してください。

＜図17＞④ 画面にメモを貼ります。詳細は【その他の機能や特徴】を参照してください。

＜図18＞⑤クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい図16㉑

＜図17＞操作卓画面



＜図18＞患者用画面



- 下の＜図19＞は設定画面の一部＜図16＞⑪⑫です。表示秒数や表示画像を選択します。
- ・表示画像は1280x1400ドットまたは比率(W/H=0.914)の画像だと隙間なく表示されます。
 - ・infopic10.jpgと infopic20.jpgと infopic30.jpgをKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置けば単独画像(同じ画像を継続して表示)として表示できます。
- ＜図19＞でinfopic10.jpg～30を選んだ場合、実際にはファイルとしてinfopic10.jpg～30が存在しなくともエラーにはなりません。表示されないだけです。
- ・連続で画像を表示したい場合はimgFolderフォルダの中にjpg画像ファイルを置きます。設定画面で”フォルダ内画像”を選べばフォルダ内の画像をファイル名の昇順で繰り返し表示します。

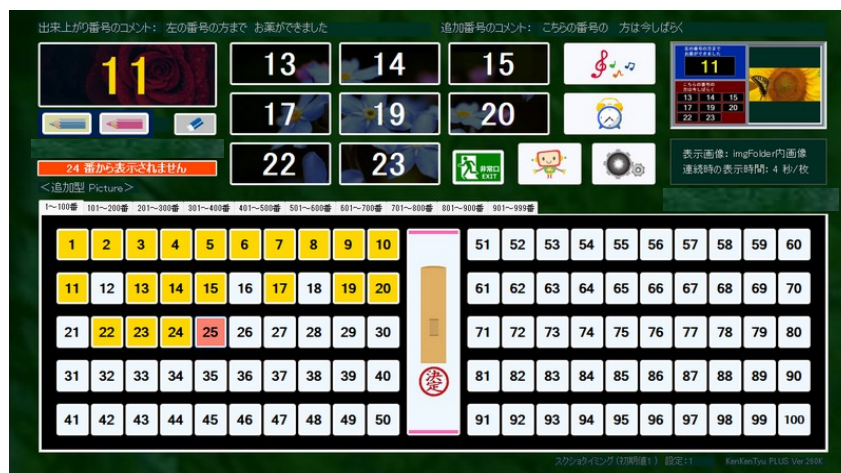
＜図19＞



注意: imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置く必要があります。サンプルを付けました。サンプルは私が撮影したものですユーザーの作成が可能です。マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 2】を参照してください。

- 「追加型Picture」の操作 設定＜図16＞①で「追加型Picture」を選択しソフトを再起動します。追加型の意味や操作は前述の＜追加型＞と同様です。参照してください。追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照してください。Picture表示に関しては＜待ち番型Picture＞と操作は同様です。参照してください。マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 2】も参照ください。

＜図21＞
操作卓画面



＜図22＞
患者用画面



- 「手動型Picture」の操作 設定<図16>①で「手動型Picture」を選択しソフトを再起動します。
手動型の操作は前述の<手動型>と同様です。参照してください。
矢印キーの操作は<図10>⑨も参照してください。
Picture表示に関しては<待ち番型Picture>と操作は同様です。参照してください。
マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 2】も参照ください。

<図23> 操作卓画面



<図24> 患者用画面



- 「待ち番型Video」の操作 設定<図16>①で「待ち番型Video」を選択しソフトを再起動します。
前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面に動画を表示します。<図26>(C)
操作卓にも縮小動画を表示します。<図25>(A)
mp4Videoフォルダに入れた動画を単独または複数でループ再生します。
マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 3】でも説明しています。参照ください。
動画は原則自作する必要があります(著作権などの問題がない場合を除く)
<図25>(A)にはポーズ、再生ボタン、音量調整、ファイル指定のためのプルダウンメニュー2つ、
移動決定ボタン、再生ファイル表示、mp4ファイル数表示があります。
機能説明のため別に(A)部分の拡大図を用意しました。説明は後述。
・動画をマスクして隠すことができます。<図10>⑬や<図16>⑳を参照してください。
・<図25>(B)画面にメモを貼ります。詳細は【その他の機能や特徴】を参照してください。

・クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい。<図16>㉑参照

<図25> 操作卓画面



<図26> 患者用画面



- ・<図25> (A)①: Video型操作卓は起動時にmp4Videoフォルダ内にあるファイルの再生リストを作ります。再生している動画は、その何番目かを表示しています。
- ・右図②: mp4Videoフォルダ内にあるmp4動画の総数です。
- ・右図③: 二つ並んだプルダウンメニューの左が十の位、右が一の位で二つ合わせて00~99番目のファイルを意味します。
- 例えば03を選び④のボタンを押すとリストの4番目の動画を再生します。00で④のボタンを押しても移動しません。
- 総mp4数より多い数を指定した場合は最後の動画を再生します。最後の動画が終わったら最初の動画へ戻りループ再生します。
- ・右図④: 移動ファイルの決定をします。背景色が濃いグレーの時は押せませんが、③に変化があると白色になりボタンが押せるようになります。④を押すと指定の動画再生が始まります。
- 指定ファイルへ移動後、④の色は濃いグレーに変わり押せなくなります。③は00に変わります。
- ・右図⑤: ミュート(消音)。ボタンを押すとミュートとミュート解除が切り替わり背景色も変わります。
- ・右図⑥: 動画のポーズ。ボタンを押すとポーズとポーズ解除が切り替わり背景色も変わります。
- ・右図⑦: ビデオ音量を0~100で調節します。終了時の音量は次回起動時に引き継がれます。

<図25> (A)の拡大図



- 「追加型Video」の操作 設定<図16>①で「追加型Video」を選択しソフトを再起動します。追加型の意味や操作は前述の<追加型>と同様です。参照してください。
- 追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照してください。
- Video表示に関しては<待ち番型Video>と同様です。参照してください。
- マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 3】でも動画の説明しています。参照ください。

<図27> 操作卓画面



患者用画面



- 「手動型Video」の操作 設定<図16>①で「手動型Video」を選択しソフトを再起動します。手動型Videoの操作は前述の<手動型>と同様です。参照してください。
- 最後尾入力は次の「手動型16窓」の操作<図29>を参照してください。
- Video表示に関しては<待ち番型Video>と同様です。参照してください。
- マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 3】でも動画の説明しています。参照ください。

<図28>
操作卓画面



●「手動型16窓」の操作 設定<図16>①で「手動型16窓」を選択しソフトを再起動します。
16窓の操作は前述の「手動型」も参照してください。矢印キーの操作は<図10>⑨を参照してください。

クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい。<図16>②参照
・従来の入力方法は16個ある窓の1つをクリックし電卓から番号を入力します。これを繰り返した後
”掲示板に反映”を押すと空白が削られ左詰めで患者画面に反映します。その際にソートの有無
は設定に従います。<図16>⑦

・Ver.UPで追加した”最後尾入力”は<図29>の青矢印のボタンを使うと、既に入力されている番号
を左詰めにし最後尾に番号を追加していきます。**すべての枠が埋まると左上の番号が削られ
最後尾に追加**されます。複数の番号を連続して入力する場合は、キーボードで行くとスムーズ
に入力が可能です。ソートの有無は設定に従います。<図16>⑦

入力の際、16個ある窓が**全て埋まってからの運用**には注意が必要です。

従来の入力では手動で番号を削除する必要があります。”ソートなし”なら先頭(左上)の枠に0を
入力して”掲示板に反映”で空欄を作り(チャイムは鳴りません)最後尾に移動した空欄に新しい
番号を入力します。”ソートあり”ならば遅れて入力した番号が先頭付近にある可能性があるた
め削る番号を、より吟味する必要があります。

最後尾入力の”ソートなし”では自動的に先頭(時間的に古い番号)から削られるので単純です。
”ソートあり”で遅れて入力した番号が先頭にある場合、自動的に先頭が削られる最後尾入力は
不向きです。この場合は従来の入力と併用になると思います。(併用はいつでも可能です。)

<図29> 操作卓画面



<図30> 患者用画面



<図29>の赤矢印



<図29>の青矢印 をクリックすると”最後尾入力中”に変わる



従来の音声読み上げ方法だと全ての枠が埋まっている場合、毎回16個の番号を読み上げます。
これでは不都合な場面も想定され、追加となった番号のみを読み上げる機能を追加しました。
<図29> 赤矢印の犬ボタンで追加のみ読み上げます。(読み上げソフトの起動が前提です)
従来の方法もそのままなので、ロボットボタンで番号を読み上げます。

大窓 4分①	&Aのかたは1番窓口にお越しください。	①
小窓 4分②	&Aのかたは2番窓口にお越しください。	②

左図は(設定<図16>②を抜粋)
従来の読み上げ方法の文章は左図①に登録し
追加番号の読み上げは左図②に登録します。

<設定例: 追加番号読み上げ>

上図②に登録します。&Aは番号に置換されます。
登録文章は”&Aのかたのお薬ができました。この番号より以前に出来たお薬は、
掲示板でご確認ください。”となります。

<設定例: すべての番号読み上げ>

上図①に登録します。&Aは番号に置換されます。
登録文章は”次の番号のかたのお薬ができています。&Aです。”となります。

- 「待ち番型2系統」の操作 設定<図16>①で「待ち番型2系統」を選択しソフトを再起動します。上段と下段で2系統の番号を管理できます。基本的には1系統の操作卓と同じ操作です。開始番号は設定ボタンから設定でき、<図31>①②に開始番号を表示します。設定方法は<図31>⑦から行いますが、詳しくは<図16>⑨⑩を参照してください。1000番単位で設定が可能です。また開始番号を1番単位で設定する必要がある場合は”一括出来上がり”を行う必要があります。方法は<図16>⑩⑪を参照してください。
- <図31>②で下段を開始番号Bを1001番～に設定しているので1番は1001番に相当します。
- <図31>③で上段の待ち時間を入力した場合は<図32>④のように表示されます。
- <図31>⑤ 患者用画面のスクリーンショットです。不要な場合はマスクして隠すことも可能です。詳細は<図10>⑬や<図16>⑲を参照してください。
- <図31>⑥でプログラム終了します。
- <図31>⑧画面にメモを貼ります。詳細は【その他の機能や特徴】を参照してください。
- <図31>⑨引き換え番号をテキストにして読み上げます。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定<図16>⑲で文章の登録が必要です。です。詳細は、マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 1】を参照してください。
- <図31>⑩消しゴムのアイコンは一括削除をします。上段と下段は各々分けて行います。
- <図32>⑪クレジット表記を想定し患者画面にコメント表示可能です。ユーザー判断で使用下さい。図16⑲

<図31>
操作卓画面



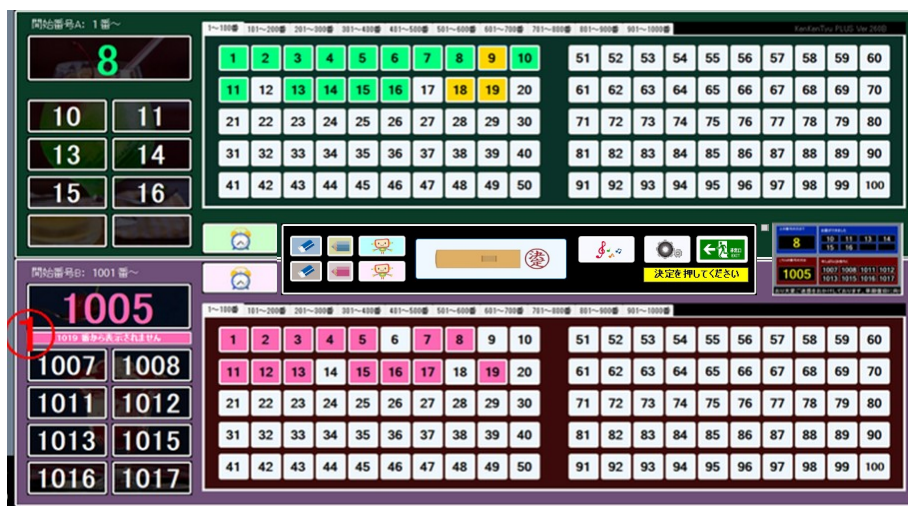
<図32>
患者用画面



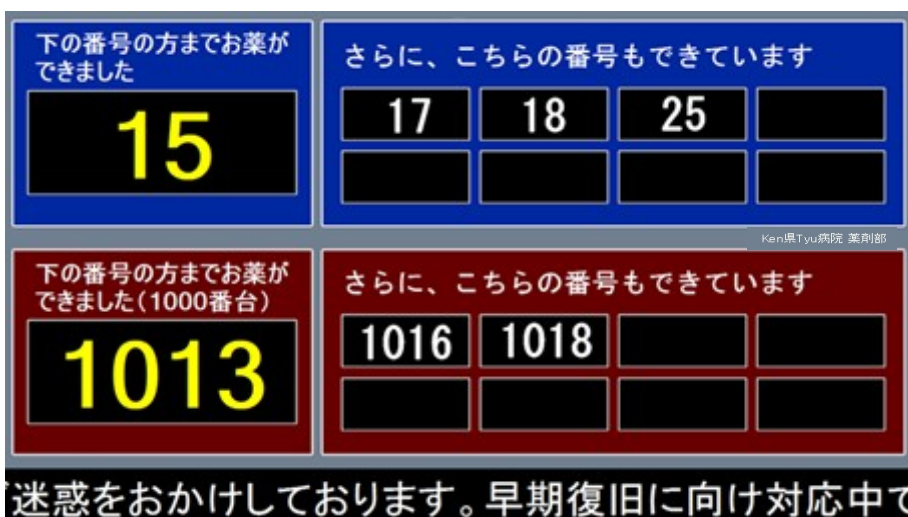
- 「追加型2系統」の操作 設定<図16>①で「追加型2系統」を選択しソフトを再起動します。「追加型」で2系統の番号を管理できます。追加型なので「〇〇番まで出来ました。さらに〇〇番も出来ています」の仕様になります。

基本的操作は「待ち番型2系統」と同様です。開始番号の設定なども同様です。
 追加型<図6>も参照してください。
 追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。<図33>①
 番号ボタンを押すと「決定を押してください」の文字が点滅します。

<図33>
操作卓画面



<図34>
患者用画面



●「手動型2系統」の操作 設定<図16>①で「手動型2系統」を選択しソフトを再起動します。
 待ち番号や追加番号を計算して見つけ出すことはしません。<図35>②のボタンに入力した
 番号は空白を詰めて表示します。
 ソートの有無を設定できます。方法は前述の設定の<図16>⑦を参照してください

【注意】患者用画面に表示するには必ず「掲示板に反映」ボタンを押す必要があります。
 操作卓でよく確認した後に患者用画面に表示するという手順にしています。

<図35>①②に入力可能な数字は4桁までです。それ以上入力しても削られます。
 <図35>①②のボタンを押すと背景が朱色に変わり電卓<図35>③が有効になります。
 電卓内の決定の文字が点滅し、画面中央に「入力後決定を押して」の文字が点滅します。
 電卓<図35>③は数字をマウスでクリックするか実物のキーボードを押して操作します。

以下は電卓＜図35＞③の対応キーです。

1～9 キーボードの1～9に対応

*C キーボードの*またはcに対応(cは小文字) 機能としてはクリア

-BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除

キャンセル キーボードのESCに対応

矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。

決定 キーボードのEnterに対応 (キーボードのスペースはEnterと同じ機能)

【補足】電卓がアクティブな状態で電卓以外のボタンは押せません。

矢印キーの操作は手動型説明の＜図10＞⑨も参照してください。

- ・電卓の決定ボタンを押すと画面中央の「掲示板に反映」の文字が点滅しますが、ここで＜図35＞①や②のボタンを押せば、**続けて**入力も可能です。
「掲示板に反映」を押すと＜図35＞②内に表示された番号を患者用モニター＜図36＞に反映します。朱色の背景は黒に変わります。
- ・＜図35＞②の枠内に入力する際、空白があってもかまいません。「掲示板に反映」＜図35＞⑤を押せば空白はソートの有無にかかわらず削除されます。
- ・ソート有の場合は小さい順に整列され、ソート無しの場合はそのまま表示されます。
- ・一括番号削除ボタン＜図35＞④を押すと＜図35＞①と②の全ての番号が削除され患者用画面にも反映されます。このときチャイムは鳴りません。
- ・**個別に削除**するには＜図35＞①や②に**0を入力**します。0の場合、チャイムは**鳴りません**。
- ・0入力以外、番号に変更があると自動でチャイムが鳴ります。
手動で鳴らすときは「音符のボタン」を押す必要があります。
- ・＜図35＞⑤ 患者用画面に番号を反映するにはこのボタンを押す必要があります。
- ・＜図35＞⑥にあるコメント「下の番号の方まで～」は設定＜図16＞⑤の(1)～(4)で可能です。
スクロール文は設定で変更できます。前述の設定＜図16＞を参照してください。
- ・＜図35＞⑦待ち時間を設定します。上下段の各々に設定可能です。
患者用画面では＜図36＞⑧です。
- ・＜図35＞⑩画面にメモを貼ります。詳細はマニュアル前半の【その他の機能や特徴】を参照してください。
- ・＜図36＞⑨番号が更新された時間を示します。スマホで確認を使うときにだけ表示します。
表示しないようにもできます。設定＜図16＞⑰参照してください。
- ・＜図35＞⑪引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定＜図16＞⑳で文章の登録が必要です。
詳細は、マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 1】を参照してください。
- ・＜図35＞⑫ 最後尾に番号を追加します。従来は入力する場所を選んで入力、既に入力済みの場合は削除を行ってから番号入力が必要でしたが、最後尾入力は最後に番号を追加していきます。全ての枠が埋まると自動的に左上の番号が削られます。
手動型16窓＜図29＞も参照ください。
- ・＜図36＞⑬ クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使下さい。＜図16＞⑲参照

＜図35＞
操作卓画面



<図36>
患者画面



●「手動型4分割」の操作 設定<図16>①で「手動型4分割」を選択しソフトを再起動します。画面を4分割して各々に番号の入力、静止画表示、連続画像、動画を配置できます。

- ・<図37>① 番号の入力は①を押すと電卓が表示されます。番号入力後に決定を押すと①の背景がオレンジ色になり「掲示板に反映」⑤が点滅します。⑤を押すと患者用画面に反映されます。反映されると番号の背景①は黒色になります。
- ・<図37>② 静止画は設定<図16>②で選択したinfopicA.jpg～Cの画像を表示します。infopicA.jpg～CはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所にある必要があります。infopicA.jpg～Cは自作が可能です。解像度が1000x480ドットまたは比率(W/H=2.08)にすると隙間なく表示されます。表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。画像はjpgである必要があります。
- ・<図37>③ 連続画像表示を配置するにはKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ<図38>Aのなかに画像ファイルを入れ、設定<図16>③で連続画像を指定する必要があります。4ヶ所どこでも連続画の選択ができますが、配置は1ヶ所しかできません。連続再生時の1枚の表示時間は<図37>⑬から設定し<図37>⑨にその時間を示します。画像は解像度が1000x480ドットまたは比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。画像再生はimgFolder内のファイル名の昇順にループ再生されます。再生可能な画像形式はjpgのみです。

【その他のインストール関連 - 2】にも同様の説明があります。あわせて参照ください。

<図37>
操作卓画面



①～⑤ 赤 ⑥～⑩ 青 ⑪～⑮ オレンジ ⑯～⑰ 緑

・＜図37＞④ 動画再生はKenKenTyuPLUS260Sf.exeと同じ場所に置かれたmp4Videoフォルダー＜図38＞Cの中に動画ファイルを入れる必要があります。

さらに⑬から設定に入り、下の＜図41＞で”動画”を指定します。その際、配置位置に制限があります。

動画は＜図37＞の④の位置にしか配置できません。

＜図40＞でいうと、Dの位置になります。

動画はmp4ファイルが再生対象になり、mp4Videoフォルダ内にある動画をファイル名昇順でループ再生します。

・＜図37＞⑤は①に番号が入力された際、患者用画面に反映するために押します。

・＜図37＞⑥ 指定した動画に移動できます。2つのプルダウンメニューを使い00～99を入力後、隣のボタンで移動します。

動画のポーズ、ポーズ解除が可能です。スピーカーマークでミュート(消音)が可能です。

詳しい説明は「待ち番型Video」の操作＜図25＞(A)を参照ください。

・＜図37＞⑦ ビデオ音量を0～100で調節します。終了時の音量は起動時に引き継がれます。

・＜図37＞⑧ スクロール文を表示しています。

スクロール速度に停止を追加しました。設定＜図16-④＞のスライダーで0にすると停止します。スクロールの必要のない短い文章や見出しとして利用する場合にご利用ください。

・＜図37＞⑨ 連続画像表示時の1枚の表示時間です。表示時間は設定から変更可能です。

・＜図37＞⑩ 4分割された場所に何が配置されているかを表示します。

・＜図37＞⑪ 入力された番号のすべてを削除します。

・＜図37＞⑫ チャイムを鳴らします。

・＜図37＞⑬ 設定画面＜図16＞を開きます。

・＜図37＞⑭ 終了します。

・＜図37＞⑮ 時計をクリックすると待ち時間選択画面が表示されます。＜図3＞

・＜図37＞⑯ 待ち時間を表示します。患者画面にも同様の表示がされます。

・＜図37＞⑰ コメントは設定＜図16＞⑤でセットでき＜図16＞⑤のコメント(1)～(4)が対応します。
コメント(1)→左上＜図40＞A、 コメント(2)→右上＜図40＞B、
コメント(3)→左下＜図40＞C、 コメント(4)→右下＜図40＞D に対応します。

・＜図37＞⑱ 画面にメモを貼ります。詳細は【その他の機能や特徴】を参照してください。

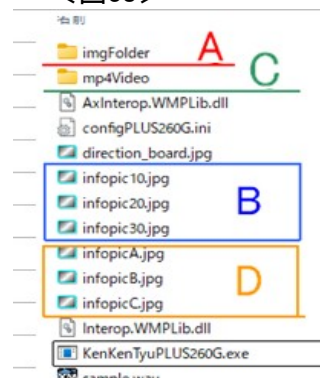
・＜図37＞⑲ ①に入力された番号をテキストにして読み上げします。

読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。

詳細は、「番号読み上げに関して」＜図42＞付近とマニュアル前半の【その他のインストール関連 - 1】を参照ください。

・クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい。＜図16＞⑳参照

＜図38＞



◎＜配置に関して＞

番号入力・静止画・連続画像・動画の配置は設定＜図16＞㉑から行います。

動画は1ヶ所にしか配置できません。場所は＜図40＞Dのみ可能です。設定画面＜図41＞D

連続画像は＜図40＞ABCDのどこでも選択できますが配置は1ヶ所のみです。設定＜図41＞C
静止画は＜図40＞ABCDのどこでも選択でき4ヶ所全てに配置できます。表示画像を選択できます。＜図41＞B

番号入力＜図40＞ABCDのどこでも選択でき4ヶ所全てに配置できます。背景色を選べます。

＜図40＞患者用画面

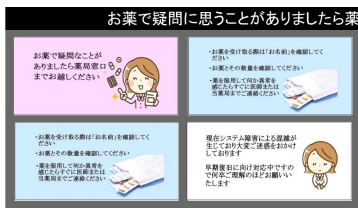


＜図41＞設定画面を抜粋

(左図40の設定に対応)



4ヶ所すべて静止画の例



4ヶ所すべて番号入力の場合



すべての種類を配置した例



上図中央 ↑

◎＜番号読み上げに関して＞

読み上げには棒読みちゃんのようなクリップボードの読み上げ対応のソフトが別途必要です。
上図中央のように4ヶ所すべて番号入力を配置した場合、各々の番号読み上げが可能です。
 読み上げには文章の設定が必要ですが＜図42＞の**赤線**と**青線**で囲んだ部分で行います。
 青線部分は通常コメント登録に使っていますが「手動型4分割」でのみ読み上げに使用します。
 上図中央①～④に対応する読み上げの文例は＜図43＞＜図44＞の①～④で示す通りです。

・登録方法

&Aの文字は読み上げ時に番号に変換されて読み上げされます。（&Aは半角）

①～④の各々には**&A**を入れて登録してください。&Aが無い場合はそのまま読み上げます。

例えば、**“&Aのかたは1番窓口にお越しください。”**のようになります。

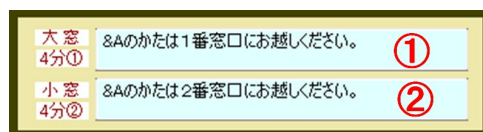
マニュアル前半の【その他のインストール関連 - 1】も参照ください。

【注意】以前まで番号置換に使っていた文字列&Bをやめ、全て&Aだけにしました。

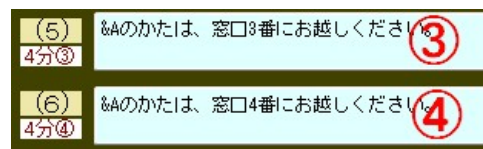
＜図42＞ 設定画面 図16の全体図



＜図43＞ 左図の**赤線**で囲んで部分



＜図44＞ 左図の**青線**で囲んで部分



- 「待ち番型大きい文字」の操作 設定＜図16＞①で「待ち番型大きい文字」を選びソフトを再起動。
 患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。
 番号は4カ所のみ表示可能で、待ち番号は3つしか表示できずスクロール文も表示されません。
 コメントは上下に各1行です。設定でコメントを設定可能です。＜図16＞⑤コメント(1)と(2)
 クレジット表記を想定し患者画面にコメントを表示可能です。ユーザー判断で使用下さい。＜図16＞⑨参照
 その他の機能は、操作卓「待ち番型」とほぼ同様です。参照してください。

＜図45＞ 操作画面



＜図46＞ 患者用画面



- 「追加型 大きい文字」の操作 設定<図16>①で「追加型大きい文字」を選びソフトを再起動する。患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。表示できるのは4つの番号のみに制限しました。その他の機能は操作卓「追加型」とほぼ同様です。

<図47>



<図48>



- 「手動型 大きい文字」の操作 設定<図16>①で「手動型大きい文字」を選びソフトを再起動する。患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。番号は4カ所のみ表示可能で、待ち番号は3つしか表示できません。スクロール文も表示されません。その他の機能は、操作卓「手動型」とほぼ同様です。参照してください。

<図49>



<図50>



- 「スマホで確認」関連のセットアップについて

「スマホで確認」機能の概要は以下のとおりです。

薬ができたなら本ソフトの操作卓で番号を選択(入力)し「決定」を押す。



「決定」を押すと、患者用画面のスクリーンショットを撮るようになってる。



PCはOneDriveのフォルダにその画像を「番号案内.jpg」の名称で書き出す。



OneDriveの機能でWeb上に「番号案内.jpg」が同期される。



患者がスマホ等でWeb上の「番号案内.jpg」を見に行く。

上記概要は前提として

設定<図16>⑭でスマホで確認を「使う」にしている必要があります。

設定<図16>⑮で患者用画面のスクリーンショットを書き出すフォルダの指定が必要です。

Web上に同期された「番号案内.jpg」は共有状態であることが必要です。

- 【★★ スマホで確認機能を使うにあたり留意いただきたいこと★★】

ネットに接続することは、サイバー攻撃や情報漏洩のリスクも伴います。このことを踏まえると

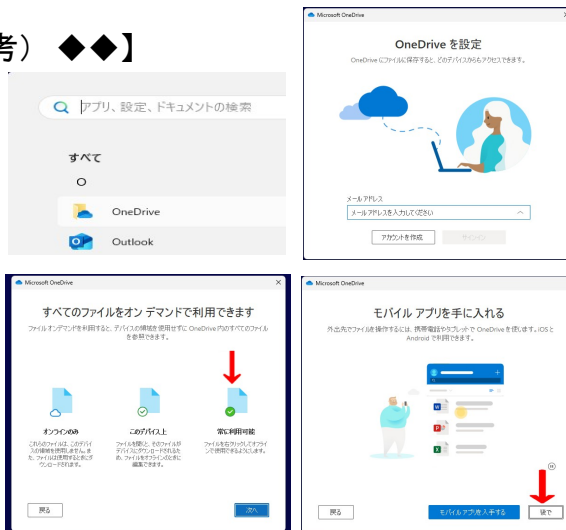
スマホで確認機能はネット接続が必須であり推奨しません。

公開にはOneDriveの機能を使っていますが、誰でもネット上で見られるように共有をかけるので検討を十分に行い、使用の際はセキュリティ対策を講じて自己責任で使用してください。

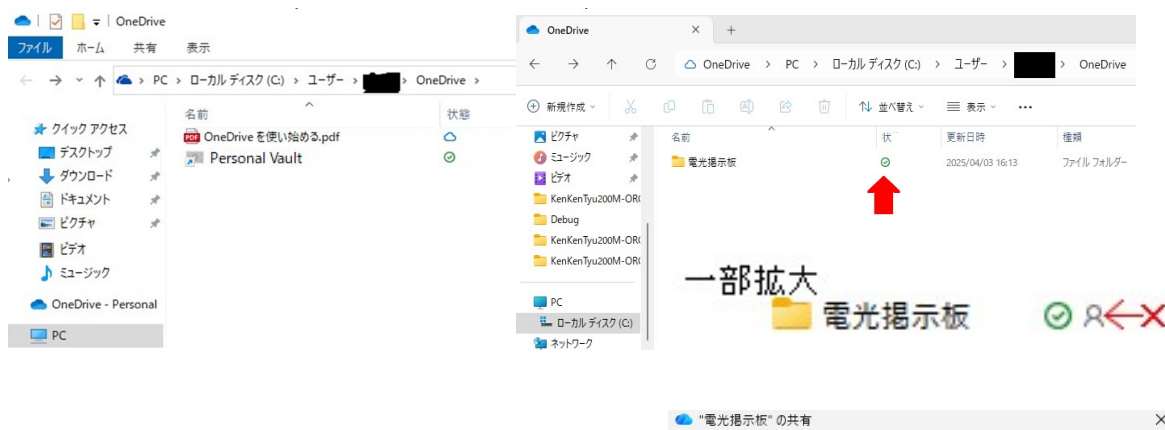
下記の「スマホで確認機能の設定例」は間違っていたり、問題があったりするかもしれません。
あくまで参考としてください。ご自身で十分検討してください。
スマホで確認機能を使い被害が生じてても責任は持てません。

【◆◆ スマホで確認機能の設定例(参考) ◆◆】

最初にOneDrive関連を設定します。
スタートメニューからOneDriveを選択したらOneDriveの設定画面が現れました。
メールアドレス(Microsoftアカウント)を入力しサインインします。



バックアップの設定は全てオフにして「次へ」を選択しました。
アップグレードは「後で」を選び次の画面では「常に利用可能」を選びました。(無料容量利用)
モバイルアプリの入手は「後で」を選び「OneDriveフォルダを開く」をクリックしました。
私の場合、OneDriveのフォルダ(C:\Users\ユーザー名\OneDrive)に下図左のようなファイルができていました。
全て削除して「電光掲示板」というフォルダを作成しました。(下図右)
電光掲示板の状態が緑のチェック(同期完了)であることを確認します。(下図右の矢印)
私の場合は回る矢印マーク(同期保留中)になりましたが以下の方法で緑チェックになりました。
フォルダが空だと回る矢印マーク(同期保留中)になる事があるので、いったん空でなくします。フォルダ内に適当なファイルをコピーし(同期に時間のかからない小さいサイズのファイルを選びコピー)、それを削除したら緑チェック(同期完了)になりました。
この時点で人のマークが無いことを確認します。(下図右)



もしも、この時点で人マークがある場合は電光掲示板フォルダを右クリック→「アクセス許可を管理」を選び右図赤矢印のリンクを選びます。
その下にリンクがあるのでゴミ箱(青矢印)で全て削除します。
古いリンクは削除して、次で行う共有のリンク1つにします。



電光掲示板フォルダの同期ができた次は共有します。右クリックから共有を選びます(下図左) 下図右の赤線で囲んだ部分が編集になっています。”表示”にしたいので矢印の鉛筆部分を クリックし、プルダウンメニューから”表示可能”を選びます。



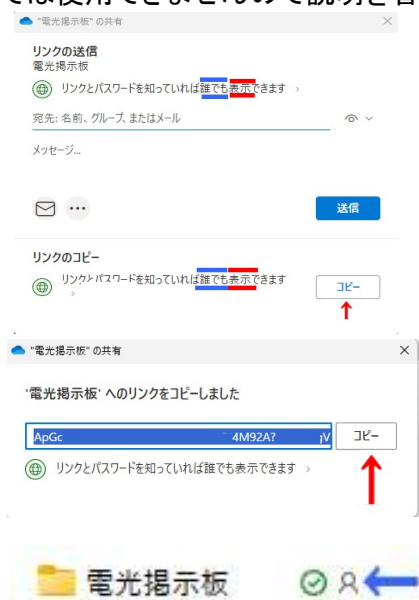
【参考】有料のOneDriveの場合、”リンクを知っていれば誰でも～”の設定でパスワードを設定できる ようです。”誰でも～”であってもアクセスを”病院利用者”に制限できることはセキュリティー上 望ましいと思いますが(世界中可能よりマシ)無料では使用できませんので説明を省略します。

右図の赤線部分が”表示”になっていることを 確認し、青線部分が”誰でも～”であることを 確認したら「コピー」をクリックします。

注意:”表示”の部分が編集だと画像を変更され てしまう恐れがあります。 後述の追記4も参照ください。

右図でコピー(赤矢印)をクリックしメモ帳などに アドレスを保存します。 これを使いQRコードを作成し、共有ファイル を 見に行けます。(作成方法は後述)

これでOneDriveの設定と共有の設定は終了です。 ここで人のマークが表示されていればOKです。 表示されていない場合は再設定が必要です。 次で本ソフト側の設定を行います。



- ・本ソフト(番号案内電光掲示板)での設定
設定画面の中段に”スマホで確認”という項目があります。＜図16＞⑭を「使う」にします。(下図) スマホの番号確認画像に番号の最終更新時間を表示できます。表示の有無を選びます。(下図) 参照ボタンで＜図16＞⑮ PCのOneDrive フォルダ内に作った「電光掲示板」フォルダ を選択します。以上で終了です。

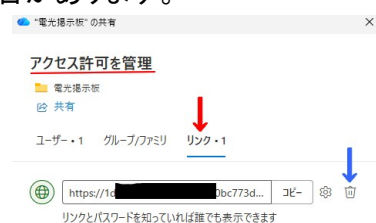


【備考】リンク先に番号を見に行ったとき、設定を”リンクを知っていれば誰でも表示できます”に しているのに、マイクロソフトアカウントでのサインインを要求される場合があります。

このような場合に、次の2点を行うことで改善されました。

- ・電光掲示板フォルダを右クリックから「アクセス許可を管理」を 選び右図↓のリンクを選びます。下のリンクをごみ箱↓で**全て 削除**した後、前述の手順で共有を”表示可能”で作り直します。
- ・Google Chromeで**閲覧履歴**データの**全削除**を行います。(追記1 の図⑦から行えます)

その後、QRコードを作り直します(後述:QRコードの作り方参照) これでリンク先をサインインなしに表示できましたが、私の環境だけかもしてません。

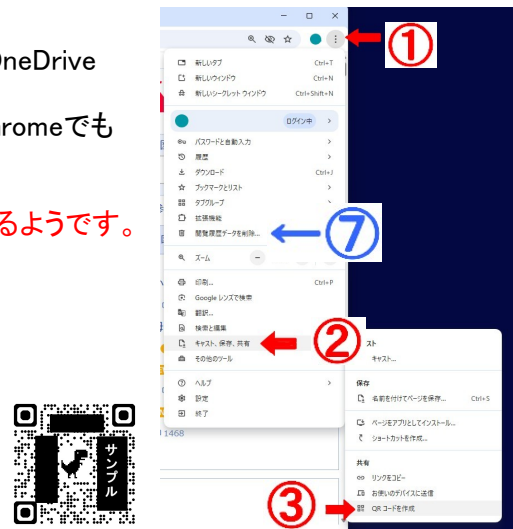


追記1: QRコードの作り方

先ほど保存したアドレスでQRコードを作り、これを使ってOneDriveの共有ファイルを見に行けます。
QRコードはツールやWeb上サイトで作れますがGoogle Chromeでも簡単に作れるようなので方法を記します。

注意: QRコードを作るWebサイトの中には危険なサイトもあるようです。
利用する場合は十分気をつける必要があります。

先ほど保存したアドレスを **Chrome**に入力(コピー)してWebへ**移動**します。
Chromeの設定①(右上の角にある3つの点)から「キャスト・保存・共有」②を選び、次に「QRコードを作成」③を選びます。
これで右のようなQRコードができます。
ダウンロードも可能です。



追記2: 自分のスマホに表示したQRコードからリンクにジャンプする方法

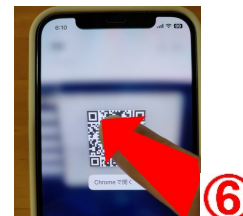
・Androidの場合:

Googleレンズを起動 (右図 赤矢印④)
右図の赤矢印⑤のようなスクリーンショットや写真にアクセスできる部分からQRコードを選択する。
表示されたURLをタップする。



・iPhoneの場合:

QRコードを表示し、QRコードの部分を長押しする。
「開く」をタップする。(右図⑥)



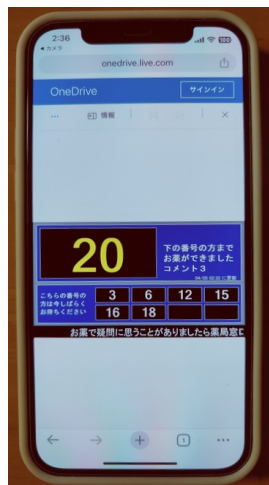
追記3: スマホで確認した画像を載せておきます。

左下の写真のサムネイルをタップすると拡大されます。右下写真(Androidのブラウザでリンクを表示した場合)



同様にiPhoneの場合

左下の写真のサムネイルをタップすると拡大されます。右下写真



追記4: スマホで確認を使用しない運用になったら速やかなファイルの共有解除を推奨します。

番号案内電光掲示板 バージョン履歴

- Ver.0.96 勤め先用に作ったものをVectorアップ用に少し一般化しVBで作成。
- Ver.100 機能限定版としてC#で作成。
- Ver.117 待ち番型の他に追加型に対応、患者用フォームを表示するディスプレイを選択可能にした。モニターの横の解像度で1024ドットの対応はやめた。
- Ver.200 3種の手動型を追加。
待ち番型と追加型が2系統の番号管理に対応。開始番号を設定可能。
- Ver.200B 今まで使えなかった1000番2000番・・・10000番のような1000の倍数を使えるようにした
- Ver.200E 1台のモニターでも起動できるようにし、操作性や機能の確認が可能とした。
(画面が重なり実際の運用は不可。あくまで機能確認用。)
専用スライドショーscrTyu015が起動可能とした。
- Ver.200G config200.txtのファイル名をconfig200G.iniに変更。
病院の診察用の番号案内と手動型2系統を追加。手動型の操作・表記など一部変更。
その他、Bug修正 表示方法の一部を変更
- Ver.200G2 開始番号C&D。一括で出来上がり処理ができるようにした。(引換番号の開始番号を100番単位で対応するため)
- Ver.200H 変更のあった番号を点滅可能にした。
- Ver.200H2 手動型で番号入力用ボタンを全9個(大1個 小8個)に増やした。
手動型2系統で待ち時間を表示できるようにした。細かいバグ取り。
- Ver.200H3 手動型系の操作卓で待ち番号のソートの有効無効を設定できるようにした。
2系統型の決定ボタンを上段下段まとめて一つにしました
- Ver.200H3.01 患者用画面において一部、待ち時間の表示場所を変更しました。
- Ver.200H3.02 二重起動を抑制しました。
- Ver.200K1 開始番号C&Dの番号を保存できるようにしました。
画像を表示できる操作卓を3タイプ用意しました。
- Ver.200K2 細かいバグ取り
- Ver.200M1 番号案内をWebで確認できるようにしました。(診察型を除く)
- Ver.200M1.01 待ち番型の患者用画面の変更、待ち時間ボタンの色など。
ソフトが止まる不具合を修正(原因は設定のコメント7～10の改行処理)
- Ver.200M1.02 バグフィックス。マニュアルの訂正。キャプチャーのタイムラグを改善。
- Ver.200M1.02A バグフィックス
- Ver.200M1.02B 患者用モニターの解像度の1280x720専用バージョン。

- Ver.200M1.02AB 患者用モニターの解像度で 1280x720と1366x768の両方に対応。
- Ver.200M1.88 チャイム音の先頭が欠ける問題に対応
- Ver.200M2.22 患者画面の縮小画像を操作卓の一部に表示するようにしました。
チャイムの音欠け対応を設定画面から選べるようにしました。
- Ver.200M2.2SNJ2 待ち番型患者用画面を変更。上段コメントを3行にしてフォントも拡大
- Ver.200M2.2SNJ3 Google Chromeでダウンロード時、何故か「一般的ではないファイル」と警告が出る。Zipやexeのサイズが大きいと誤判定の可能性があるらしい。
scrTyu015添付を中止。silent.wavを小さくし、サンプル画像やpdfファイルのサイズを小さくしました。
- Ver.200M2.2SNJ4 チャイムの音欠け対策ソフトsilent_play.exeが本体プログラムの終了と同時に閉じるようにしました。一部、患者用画面のフォームを変更しました。
外来診察用の番号案内の使用を中止しました。
プログラムで煩雑な部分を見直しました。結果、サイズが小さくなりました。
- Ver.200M2.5 追加型の3つのタイプに表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。
設定で「患者用モニターの識別番号」デフォルト番号2を「操作PCのモニターの識別番号」に変更しデフォルトも番号1にしました。
- Ver.200M3 3画面を使用する追加型の操作卓を追加しました。
表示数をオーバーしたとき、表示されない番号が解るように変更しました。
- Ver.200M3.2 待ち番型も表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。
Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策として無音再生ソフトの同封をやめ、ダウンロードした対策ソフトをスタートアップに登録することに変更。
- Ver.200M3.2SP 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの同封を再開しました。
- Ver.200M3.3 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの内部起動をやめ必要に応じ外部ツールとしてSilentPlayerKKTVer.2.0を使用することにした。SilentPlayerKKTは同封。
- Ver.200M3.3C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目の番号が点滅後に表示されない不具合を修正。
- Ver.200M3.3D プログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。
このプログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- Ver.200M3.3F レイアウトやその他。
- Ver.200M3.3G 患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。

番号案内掲示板Light バージョン履歴

- LightVer.1.0 フル版をGoogle Chromeでダウンロード時に警告が出るため、操作卓タイプを3つにしてスリム化し簡易版を作成してみた。
- LightVer.1.01 一部操作卓のフォームデザイン変更。
追加型の表示数オーバーの表示方法を変更。
- LightVer.1.2 Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策としてsilent_play.exeの内部からの起動をやめました。新規にSilentPlayerKKT.exeを作成。
SilentPlayerKKTの同封はせず必要に応じスタートアップ登録に変更。
待ち番型の表示数オーバーの警告機能を追加しました。
- LightVer.1.23 多重起動禁止するプログラムを削除しました。(DL時の警告への対応模索)
- LightVer.1.23B 手動型のフォームデザイン変更と軽微なプログラム変更
SilentPlayer KKTの同封を再開
- LightVer.1.23C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目の番号が点滅後に表示されない不具合を修正。
- LightVer.1.23D プログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。
プログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- LightVer.1.23F レイアウトその他。
- LightVer.1.23G 操作卓画面にイラストや画像を多く使用しました。
患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。
- LightVer.1.33K 画像表示可能な操作卓を3タイプ追加し計6タイプとしました。
- LightVer.1.50A 動画表示可能な操作卓を3タイプ追加し計9タイプとしました。

番号案内掲示板KenKenTyuPLUS バージョン履歴

- Ver.260B KenKenTyuPLUSとしてLight版と番号案内掲示板を統合
操作卓の追加型Type24窓と追加型3画面は廃止
手動型系で入力の際、キーボードの矢印を使えるようにした。
- Ver.260E 操作卓「手動型4分割」と「大きい文字」3タイプを追加しました。
スクロールスピードに停止を加えました。追加型Videoの表示不具合を修正しました。待ち番型、追加型で扱える最大番号を10000から9999に変更しました。
- Ver.260E-BF 操作タイプ「追加型4分割」の不具合修正しました。
- Ver.260E2 操作タイプ追加型の4種でモニター1台の場合に患者画面が表示されない不具合を修正しました。
再起動が必要な項目の設定変更があった場合、設定画面からソフトを終了可能にしました。ソースコードの公開を中止。
- Ver.260E3 チャイム音欠け対策ソフトSilentPlayerKKT21を本ソフト内から起動・終了できるようにしました。
- Ver.260G メモ機能を追加しました。音声読み上げに対応しました。
設定画面からチャイムの音量調節ができるようにしました。
- Ver.260G1 ソースコードを見直しました。機能、外観に大きな変化はありません。
- Ver.260H 操作卓の番号を表示する枠の背景を画像と黒色から選択できるようにしました。
- Ver.260J 機能限定バージョン。ネットで確認と操作卓16窓と操作卓4分割が使用不可。
- Ver.260K ネットで確認使用時に更新時間の患者画面表示を非表示にできるようにしました。
スクロール文をwebBrowserからWebView2に変更して滑らかな移動にしました。
その結果、Windows10ではWebView2ランタイムのインストールが必要となりました。
開始番号CとDを1番単位で設定できるようにしました。
操作卓「手動型4分割」で音声読み上げ4カ所個別に登録再生できるようにしました
操作卓「手動型16窓」で、追加番号の音声読み上げをできるようにしました。
スクリーンショットのタイミングをユーザーが調整可能にしました。
待ち番型5種と追加型5種の操作卓で一括削除を可能にしました。
Video型操作卓で指定ファイルの動画再生とビデオ音量調節が可能になりました。
番号を削除した場合(0入力した場合)、チャイム音が鳴らないようにしました。
手動型4分割をの毒手動型の6種で最後尾入力が可能になりました。
操作卓にある患者用画面のスクショをマスクして見えなくすることを可能にしました。
ユーザー判断でクレジットを患者画面に表示可能にしました。
スライドショー(scrTyu015)を番号案内掲示板PLUSから起動可能にしました。
Video再生可能な4種の操作卓でミュート(消音)を可能にしました
- Ver.260M チャイムの鳴るケースを見直しました。
待ち時間の表示を修正しました。
- Ver.260M3 モニターオフの抑止とスリープの抑止をプログラムで行うことをやめました。
- Ver.260R SilentPlayerの本ソフトからの起動をやめました。
スライドショー(scrTyu015)の使用を中止しました。
- Ver.260R2 小さいバグ修正
- Ver.260S チャイムの音声ファイルでMP3が再生可能になりました。
- Ver.260Sb 文字がスクロールしない不具合を修正。その他、細かい修正・変更
- Ver.260Sc スクロール速度をバースライダーで変更できるようにしました。
- Ver.260Sd 細部の動作修正(スマホで確認のdirection_board.jpgのコピーやその他)
- Ver.260Sf 「決定を押して」の点滅表示をやめました。
MP3のチャイムを連打した場合、エラーが生じることがある不具合を修正しました。